

2019年度 宮崎市地元とつながる人材育成支援事業

「宮崎×キャリア」の探求2019

～学生と地元をつなぐ企業訪問プロジェクト～

宮崎公立大学 川瀬隆千

目 的

若者の地元宮崎への定着を促進するためには、宮崎の企業等に関する情報をより具体的に提供する必要がある。学生の多くは地元宮崎に多くの魅力的な企業があることを知らないからである。

宮崎の企業や宮崎で働く魅力を伝えるには、宮崎の企業等に関する情報を提供していくことが必要であるが、その際、学生が自ら主体的に情報収集することが重要であろう。そこで、実際に地元で働いている卒業生とこれから働こうとしている学生たちとのコミュニケーションの場を作ることにした。

宮崎の企業や自治体で働く本学卒業生たちが自ら経験し感じている宮崎で働く魅力を直接学生に伝え、学生は地元で働く卒業生の声に耳を傾け、自分自身の将来の生き方を真剣に考える。そのような直接的で、積極的なコミュニケーションによって、地元で働く魅力が発見されるはずである。このような取り組みは学生たちの就業意識を高めることも期待できる。

そこで、学生が宮崎の企業や自治体を訪問し、宮崎で働く魅力についてインタビューする「学生による企業・自治体訪問」と、その成果を報告する「成果報告会」を企画・実施した。

本取組を通して、学生だけでなく、宮崎の企業や自治体、大学関係者にも「宮崎でのキャリア形成」や「地元とつながり、地元を支える人材の育成」について考えを深める機会を提供できるだろう。

方 法

本学では 2004 年から 2 年生の必修科目として「キャリア設計」を設置し、低学年のうちから学生のキャリア意識の向上を図ってきた。本取組は、「キャリア設計」の講義内容に、宮崎の企業・自治体に関する情報収集、地元で働く魅力とその現実について考える時間を加えることによって実施した。

地元企業への興味関心や、地元で働くことの魅力を高めるには、学生が自ら地元企業の情報を収集し、それらを他者に伝えることが必要である。このようなアクティブ・ラーニングは学生の積極性や実践力を育てることにもなる。

そこで、宮崎市内・宮崎県内の企業・自治体の協力を得て、「学生による企業・自治体訪問」と「成果報告会」を実施した。具体的な取組方法は以下のとおりである。

1. 取組の具体的な日程等

表1に取組の具体的な実施日程等を示す。

表1 取組の実施日程等（2019年～2020年）

6月19日	事業採択決定
10月1日	学生に企業・自治体訪問の説明 企業等の情報を提示して、第5希望まで選ばせる。
10月29日	訪問先企業等を決定、学生に通知 事前アンケートを実施
11月5日	企業・自治体訪問事前演習① 訪問企業についての情報収集（グループワーク） ・正式名称、事業内容、代表者・所在地・設立年月日、資本金・売上高・従業員数、企業理念・経営理念など。
11月19日	企業・自治体訪問事前演習② 訪問時のインタビュー項目を考える（グループワーク） ・企業訪問の目的、企業情報を参考にしながら、インタビューでの質問を考える（全グループへの共通質問として、宮崎で働くことのメリットとデメリットを設定）。 訪問時の注意事項など 宮崎市役所訪問（グループワーク）
11月26日	企業・自治体訪問①（グループワーク）
12月3日	企業・自治体訪問②（グループワーク）
12月10日	成果報告会での発表準備① ポスター作成（グループワーク） ・企業情報、インタビュー内容、宮崎で働くこと、感想をポスターにまとめる。
12月17日	成果報告会での発表準備② ポスター作成（グループワーク） ・ポスター発表の準備。
12月24日	成果報告会（交流センターにて実施）
1月7日	事後アンケート
2月末	「宮崎×キャリアの探求2019」報告書作成

2. 企業・自治体訪問の効果を検証するためのアンケート

本取組の効果を検証するため、「学生による企業・自治体訪問」の実施前（事前アンケート）と「成果報告会」の実施後（事後アンケート）にアンケート調査を実施した。

1) 事前アンケート

「学生による企業・自治体訪問」の実施前のアンケート調査（事前アンケート）では、以下の質問を行った。

①地元志向尺度：米原・田中（2015）の作成した「地元志向」10項目について5件法で尋ねた。

②異文化志向尺度：前村（2011）の作成した14項目について5件法で尋ねた。

③出身地：学生の出身地を「宮崎市内」「宮崎県内」「宮崎県外」から選ばせた。

④就職先として考えている場所：現在、学生が就職先として考えている場所として、「宮崎市内」「宮崎県内」「宮崎県外（出身地）」「宮崎県外（出身地以外）」「未定」から選ばせた。

⑤就職先として宮崎市内・宮崎県内を選んだ理由：現在、就職先として考えている場所として「宮崎市内」「宮崎県内」を選んだ場合には、その理由を表7に示す9項目から選ばせた（複数回答可）。

⑥就職先として宮崎県外を選んだ理由：現在、就職先として考えている場所として「宮崎県外」を選んだ場合には、その理由を表6に示す11項目から選ばせた（複数回答可）。

⑦就職先を未定とした理由：現在、就職先として考えている場所を「未定」とした場合には、その理由を記述させた（自由記述）。

2) 事後アンケート

「成果報告会」の実施後のアンケート調査（事後アンケート）では、「学生による企業・自治体訪問」および「成果報告会」に対する学生自身の評価について質問した。

事前アンケートと同様に、「出身地」「就職先として考えている場所」「就職先として宮崎市内・宮崎県内を選んだ理由」「就職先として宮崎県外を選んだ理由」「就職先を未定とした理由」を尋ねた。

結 果

1. 学生が訪問した企業・自治体

学生が訪問した企業・自治体と訪問人数を表2に示す。

表2 学生が訪問した企業・自治体と訪問人数

企業・自治体名	人数	企業・自治体名	人数
(株)宮崎銀行	10	JA宮崎共済連・JA宮崎信連・	9
宮崎交通(株)	18	JA宮崎経済連	
デル(株)宮崎カスタマーセンター	9	宮崎県庁	16
(株)宮崎太陽銀行	7	(株)スズキ自販宮崎	5
宮崎市役所	15	(株)宮崎放送	14
MANGO(株)	18	宮崎ケーブルテレビ(株)	7
フェニックスリゾート(株)	20	宮崎キヤノン(株)	5
(株)ホンダロック	10	(株)宮崎日日新聞	8
東京海上日動火災保険(株)	5	宮崎ガス(株)	7
霧島酒造(株)	9	宮崎商工会議所	6
SCSKニアショアシステムズ	8		

2. 「学生による企業・自治体訪問」および「成果報告会」の評価

「学生による企業・自治体訪問」および「成果報告会」に対する学生自身の取り組みを評価するために、事後アンケートにおいて表3に示す8項目を尋ねた。回答は「全く当てはまらない」(1)～「とても当てはまる」(5)までの5件法であった。表3に示すように、学生(179人)は「学生による企業・自治体訪問」および「成果報告会」への自らの取り組みを非常に高く評価していた。

表3 企業・自治体訪問、成果報告会に対する評価

項 目	平均	標準偏差
1. 十分に準備した上で企業・自治体を訪問した。	4.16	.86
2. 訪問した企業・自治体への関心が高まった。	4.39	.80
3. 宮崎の企業・自治体について知ることができた。	4.47	.71
4. 将来の進路を考えるきっかけになった。	4.47	.77
5. 発表内容等、十分に準備した上で成果報告会に参加した。	4.12	.90
6. 宮崎の企業や自治体について知ることができた。	4.34	.78
7. 宮崎の企業や自治体への関心が高まった。	4.09	.95
8. 将来の進路を考えるきっかけになった。	4.37	.81

3. 「学生による企業・自治体訪問」報告書と成果報告会

巻末に「学生による企業・自治体訪問」報告書の内容を示す。図1は成果報告会の様子、表4は成果報告会に関する学生の感想である。



図1 「成果報告会」の様子

表4 「成果報告会」の感想

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">・宮崎の企業を知る良い機会になりました。・宮崎のさまざまなジャンルの企業について知ることができて良かったです。・それぞれの企業の仕事内容が分かった。・企業訪問をしなければ得られない情報など貴重な情報を知ることができる良い機会だった。・宮崎のいろいろな企業の話を聞けて、就活に役立つ情報を得ることができた。・多くの企業の話を聞くことができ、比較して一つ一つの企業の良さを感じることができた。・企業の話をとくさん聞けて、自分の将来の仕事を考える良い機会になった。・働きやすさ、仕事のやりがいなど、今まで知らなかった企業の情報をたくさん知ることができました。 |
|---|

- ・今まで興味のなかった企業についても話を聞くことができ、参考になった。
 - ・自分が知らない企業の内面を知ることができた。職場の雰囲気、仕事のやりがいや苦勞するところなどを聞けたので、とても良い経験になりました。
 - ・宮崎には職が少ないと聞いていたけど、魅力ある会社が多くあることを知って勉強になった。
 - ・宮崎で働こうとは考えていなかったが、さまざまなメリットが聞けて、とても良い機会になった。
-
- ・県内就職を目指す自分にとってとても参考になった。
 - ・宮崎で働きたいと思っているので、たくさんの企業や業種のことを詳しく知ることができてうれしかった。
 - ・働いている方々のリアルな声を聞いて「宮崎で働く自分」を想像できるようになった。
 - ・宮崎にも多くの魅力的な企業があることに興味を持った。私は将来宮崎で働きたいと考えているので、多くの企業の説明を聞いてとても良かった。
 - ・仕事の内容だけでなく、宮崎で働いて感じたことなど、生の声を聴くことができた。
 - ・どの企業の説明も楽しく、宮崎で就職してみたいと思った。
 - ・県内にも多くの企業があり、それぞれ魅力があって、県内で働くことにも目を向けたと思った。
 - ・宮崎には特徴のある企業がたくさんあった。宮崎で就職するのも悪くないと感じた。
-
- ・多くの企業で社員が働きやすい工夫をしており、こんな会社は良いなと思えるところが多かった。
 - ・東京に支社があったり、海外と取り引きしている企業が思ったより多くあり、宮崎にいながら、東京のスピード感で仕事ができたり、海外の方と仕事ができるというのはとても良いと思った。
 - ・育休などの制度が整っていると思った。この点でもプライベートを充実させやすいと感じた。
 - ・子育てのしやすい企業が多くあることを知った。
 - ・社内の人間関係も良さそうで、働きやすい会社が多いという印象を持った。
 - ・どの企業も宮崎を思いながら働いていることがよく分かった。自分が何をして働きたいのか、じっくり考えていきたい。
 - ・どの企業の社員さんも誇りをもって働いていることを知った。
-
- ・宮崎で働くことのメリット・デメリットが分かった。
 - ・宮崎は気候も人も温かいと言ったメリットがある反面、通勤手段が少ないことや娯楽施設が少ないと言った課題もたくさんあることが分かった。

- ・宮崎で働くメリットは家族の近くで働けるというのが多かった。逆にデメリットは賃金が低い、交通の便が悪いなどがあげられていた。
- ・宮崎で働くことのメリットは自然が豊かでどかな環境で働くことができること、職場の雰囲気が和やかで良いことがあげられていた。通勤時間も短くて済むなど地方ならではの良いところがあると感じた。
- ・宮崎で働くことのメリットを見ると、宮崎が好きな人が宮崎のために働いているということが良く理解できた。
- ・どの企業もデメリットに交通の便が悪いが入っていたので、公共交通機関の発展は宮崎の発展に直結する気がした。
- ・宮崎で働くメリットはどこの企業もあまり変わらなかった。県外出身者が宮崎じゃないと思えるような魅力はないのかなと思った。
- ・県外出身の人が宮崎で働くメリットについて調べてみたいと思った。
- ・（成果報告会）自分の視野を広げる良い機会になった。
- ・学生のうちにやっておくべきことを聞くことができ、参考になった。
- ・大学生のうちにさまざまなことに挑戦し、経験することが大事とわかった。積極的行動したい。
- ・自分が持っていたイメージとは大きく異なる点も多く、実際にその企業に行って、実際に働いている人に話を聞くことは大事なことなのだった。
- ・実際に企業の方と話して、とても良い刺激になった。
- ・企業訪問に行った際に担当して下さった方が見に来てくださり、緊張したけど、ほめて下さったので、とてもうれしかった。

4. 学生による企業・自治体訪問についてのアンケート調査

「学生による企業・自治体訪問」および「成果報告会」の効果を検証するため、事前アンケート、事後アンケートを実施した。なお、質問項目は前述の通りである。

1) 分析対象者

10月29日に実施した事前アンケートに回答したのは、2年生174名（男子37名、女子137名）であった。回答者の出身地別の内訳は、宮崎市内出身者43人（24.7%）、宮崎県内出身者39人（22.4%）、宮崎県外出身者91人（52.3%）、不明1人であった。また、1月7日に実施した事後アンケートに回答したのは、180名（男子44名、女子136名）であった。

2) 「就職先として考えている場所」の変化

表5に「就職先として考えている場所」の変化を示す。「就職先として考えている場所」

が「宮崎市内」である者は、事前アンケートでは8人（4.6%）であったが、事後アンケートでは18人（10.0%）に増加した。一方、「就職先として考えている場所」が「宮崎県外（出身地以外）」である者は、事前アンケートでは82人（47.1%）であったが、事後アンケートでは70人（38.9%）に減少した。

このように、「学生による企業・自治体訪問」と「成果報告会」を実施した後には「就職先として考えている場所」が「宮崎市内」である者が増加し、「宮崎県外（出身地以外）」である者が減少する傾向があった。

表5 就職先として考えている場所とその変化（人数と%）

	事前アンケート (N=173)		事後アンケート (N=178)	
宮崎市内	8	4.6	18	10.1
宮崎県内	22	12.7	21	11.8
宮崎県外（出身地）	26	14.9	36	20.0
宮崎県外（出身地以外）	82	47.1	70	38.9
未定	35	20.2	33	18.5
合計	174	100.0	151	100.0

3) 就職先として「宮崎県外」を希望する理由とその変化

「就職先として考えている場所」を「宮崎県外」と回答した者の理由とその変化を表6に示す。「県内企業を知らない」という理由が17.0%（事前アンケート）から9.4%（事後アンケート）に減少したのは、企業・自治体訪問の成果であろう。

表6 「就職先として考えている場所」を宮崎県外と答えた理由と変化（人数と%）

	事前アンケート		事後アンケート	
宮崎では活躍できない	15	14.2	10	9.4
宮崎は給与水準が低い	28	26.4	25	23.6
県内企業を知らない	18	17.0	10	9.4
地元が県外	39	36.8	44	41.5
働きたい企業等が県外にある	30	28.3	35	33.0
宮崎は生活の便が悪い	43	40.6	46	43.4
宮崎には娯楽が少ない	37	34.9	30	28.3
県外に出てみたい	45	42.1	31	29.2
一人暮らしがしたい	13	12.3	13	12.3
宮崎が好きではない	6	5.7	9	8.5
その他	11	10.3	7	6.6

4) 就職先として「宮崎市内」「宮崎県内」を希望する理由とその変化

「就職先として考えている場所」を「宮崎市内」「宮崎県内」と回答した者の理由とその変化を表7に示す。「福利厚生が充実している企業が多い」という理由が増加している。企業・自治体訪問の成果であろう。

表7 「就職先として考えている場所」を宮崎市内・宮崎県内と答えた理由と変化(人数と%)

	事前アンケート		事後アンケート	
	人数	割合(%)	人数	割合(%)
宮崎が好き	19	65.5	19	48.7
働きたい企業等がある	7	24.1	8	20.5
親のそばにいたい	14	46.7	11	28.2
友だちが多い	3	10.3	4	10.3
宮崎に貢献したい	12	41.4	14	35.9
生活環境が良い	15	50.0	17	43.6
福利厚生が充実している企業が多い	0	0.0	2	5.1
県外の土地や雰囲気が好きではない	0	0.0	4	10.3
その他	3	10.0	4	10.3

5) 出身地別に見た「就職先として考えている場所」とその変化

表8に示したように、事前アンケートでは、宮崎市内出身で「就職先として考えている場所」が「宮崎市内」である者は5人(11.5%)であったが、事後アンケートでは10人(24.3%)に増加した。宮崎県内出身者においても同様の傾向が見られた。一方、県外出身者においては「就職先として考えている場所」が「宮崎県外(出身地)」である者が増加した。

表8 出身地別に見た「就職先として考えている場所」の変化

	事前アンケート (N=172)					事後アンケート (N=178)				
	市内	県内	県外①	県外②	未定	市内	県内	県外①	県外②	未定
市内	5	8	2	18	10	10	7	0	14	10
	11.6	18.6	4.7	41.9	23.3	24.3	17.1	0.0	34.1	24.4
県内	2	11	1	17	8	6	12	0	15	9
	5.1	28.2	2.6	43.6	20.5	14.3	28.6	0.0	35.7	21.4
県外	1	3	23	46	17	2	2	36	41	14
	1.1	3.3	25.6	51.1	18.9	2.1	2.1	37.9	43.2	14.7
合計	8	22	26	81	35	18	21	36	70	33
	4.7	12.8	15.1	47.1	20.3	10.1	11.8	20.2	39.3	18.5

※県外①は宮崎県外(出身地)、県外②は宮崎県外(出身地以外)を示す。

「就職先として考えている場所」として「宮崎市内」と答える学生が増加し、宮崎県外（出身地以外）と答える学生は減少したことは「学生による企業・自治体訪問」「成果報告会」の成果と考えられる。

6) 「就職先として考えている場所」と定住志向・異文化志向

「就職先として考えている場所」により、定住志向、異文化志向が異なるのかを検討した。

事前アンケートにおける「就職先として考えている場所」に基づき、学生を4グループに分類した。すなわち、①「就職先として考えている場所」として「宮崎市内」および「宮崎県内」と回答した学生（30名）、②「就職先として考えている場所」として「宮崎県外（出身地）」と回答した学生（25名）、③「就職先として考えている場所」として「宮崎県外（出身地以外）」と回答した学生（81名）、④「就職先として考えている場所」が「未定」である学生（35名）である。

そして、「地元志向（地元志向尺度 10 項目の合計）」と「異文化志向（異文化志向尺度 14 項目の合計）」について、これら4つのグループを比較した。結果を表9に示す。

表9 「就職先として考えている場所」別の地元志向、異文化志向（平均とSD）

	就職先として考えている場所			
	市内・県内	県外 (出身地)	県外 (出身地以外)	未定
地元志向	36.37 (6.08)	36.80 (5.51)	30.12 (6.59)	33.51 (6.39)
異文化志向	41.67 (10.69)	52.54 (11.96)	54.06 (11.75)	53.09 (12.90)

地元志向と異文化志向は「就職先として考えている場所」によって大きく異なっていた。「地元志向」は「市内・県内」「県外（出身地）」を希望する者が高く、「県外（出身地以外）」希望者と「未定」の者は低かった。逆に、「異文化志向」は「市内・県内」希望者が低く、「県外（出身地）」「県外（出身地以外）」希望者、「未定」の者は高かった。「地元志向」が強く、「異文化志向」が弱い学生が、市内・県内での就職を希望する傾向があると言える。

前村（2011）によれば、「地元志向」とは個人をある土地にとどまらせるような力であり、コミュニティへの帰属意識や場所愛着の強さである。一方、「異文化志向」とは居住する土地から離れる力であり、異なる文化への関心や好奇心の強さである。

市内・県内への就職を希望する学生のコミュニティへの帰属意識や地元への愛着が高いことは望ましい。その一方で、グローバル化の進展という観点から見れば、異文化への関心や好奇心の低い学生が市内・県内に残ることは必ずしも望ましいことではないだ

ろう。

次に、それぞれの平均により、学生を地元志向高群・低群、異文化志向高群・低群に分け、それらを組み合わせて地元志向・異文化志向の4群を作った。表10は、この4群における「就職先として考えている場所」の変化を見たものである。

表10 地元志向・異文化志向の高低群の「就職先として考えている場所」の変化(人数と%)

地元× 異文化	事前アンケート				事後アンケート			
	市内 県内	県外①	県外②	未定	市内 県内	県外①	県外②	未定
低×低	6	3	15	6	7	3	12	8
	20.0	10.0	50.0	20.0	23.3	10.0	40.0	26.7
低×高	1	4	30	7	5	5	23	9
	2.4	9.5	71.4	16.7	11.9	11.9	54.8	21.4
高×低	21	8	11	5	21	7	10	7
	46.7	17.8	24.4	11.1	46.7	15.6	22.2	15.6
高×高	2	8	18	13	3	13	17	8
	4.9	19.5	43.9	31.7	7.3	31.7	41.5	19.5

※県外①は宮崎県外（出身地）、県外②は宮崎県外（出身地以外）を示す。

異文化志向の高い2つのグループ（「地元志向低×異文化志向高」群と「地元志向高×異文化志向高」群）では、市内・県内を希望する者が増加する傾向があった（2.4%→11.9%、4.9%→7.3%）。

このことは、異文化志向の高い学生が宮崎の企業等の情報を得ることにより、市内・県内での就職を考えるようになる可能性があることを示している。

まとめ

本取り組みでは、実際に地元で働いている卒業生とこれから働こうとしている学生たちとのコミュニケーションの場を作ることによって、学生たちに地元で働く魅力を伝えるために、学生が宮崎の企業や自治体を訪問し、宮崎で働く魅力についてインタビューする「学生による企業・自治体訪問」と「成果報告会」を企画・実施した。

その結果、学生たちは宮崎の企業・自治体についてさまざまな知識を得ることができ、

また、働くことへの意識が変化し、宮崎で働くことの魅力に気がついたようである。成果報告会をレベルの高い情報を共有できる良い機会と捉え、積極的に発表し、質問もしていた。働く人たちと学生との間の、また学生同士の、直接的で、積極的なコミュニケーションによって、地元で働くことの魅力が発見され、広められていったのである。

平尾・田中（2016）は、若者はさまざまな出会いを通して進路を選んでいくと言う。出会いは地元を離れる原因となる可能性もあるが、宮崎に貢献しようと働く人たちとの出会いは若者の積極的な地元志向を作り出す可能性がある。大学におけるキャリア教育ではそのような出会いの場を数多く提供することも必要である。

本取り組みによって、宮崎市内・宮崎県内での就職を考える学生が大幅に増加したわけではない。しかし、自ら情報を収集し発表することによって宮崎の魅力に気づき、宮崎での就職を考えるようになる学生も多いと思われる。

ただし、就職先として宮崎市内・宮崎県内を希望する学生は地元への定住志向を持ち、安定した仕事を求める傾向がある。地元志向が強く、異文化志向が弱い学生が地元に残りがちになることも考えられる。一方で、グローバルに展開する地元企業に関する情報を得ることで、異文化志向の高い学生が市内・県内での就職を考えるようになる可能性もある。

本取り組みを通して、「宮崎で就職すること」への学生の関心は確実に高まっている。今後も積極的に情報を提供していく必要がある。

引用文献

平尾元彦・田中久美子 2016 就職活動を通じた地元志向の変化 大学教育（山口大学大学教育機構），13，65-71.

前村奈央佳 2011 移動と定住に関する心理的特性の検討：異文化志向と定住志向の測定および関連性について 関西学院大学先端社会研究所紀要，6，109-124.

米原拓矢・田中大介 2015 地元志向と心理的特性との関連-新たな発達モデルの構築に向けて- 地域学論集（鳥取大学地域学部紀要），11，139-157.

宮崎公立大学

企業・自治体訪問

～宮崎で働くこと～

12月24日(火) 10:30～12:00

宮崎公立大学 交流センターホール



やわらかな知性を身につける。



宮崎公立大学

MMU LIBERAL ARTS



宮崎銀行企業訪問 報告

朝倉智恵・飯田亜衣・桂さちも・河野美来・原田菜々子
平山隼大・三輪香純・山口真沙暢・吉野凌子・和田遥稀



1. 会社概要

①正式名称(商号)
株式会社宮崎銀行



明日の夢 人から人へ

宮崎銀行

②事業内容
普通銀行業務、外国為替業務、投資信託業務、代理店業務

③代表者・所在地・設立年月日
所在地 〒881-0805
宮崎県宮崎市橘通東4丁目3-5
設立年月日 1932年7月27日
代表者 平野亘也



④資本金・売上高・従業員数
資本金 146億円(2019/3/31)
売上高 単体542億2200万円
連結 484億4900万円(2018年3月期)
従業員数 1421人(2019/3/31)

⑤企業理念・経営理念
地域との共存・共栄

2. インタビューの内容

Q1. ノルマはどれくらいですか。

- そもそもノルマとは、達成できなかったらペナルティーが生じることを指す。
- ・支店ごとに「目標」がある。
 - ・助けあって達成する。例：定額預金のお客様をとるには、契約が取れた人が取れなかった人に渡して、その支店の目標達成とする。
 - ・株式会社である以上利益は求める。

Q2. 仕事のやりがいは何ですか。

- ・人から感謝され、今までつながっていなかった人とつながれること。
 - ・誰かの役に立てたとき、自分の努力が形になったとき。
- ★やりがいと同時に責任も生じる。



Q3. 窓口での仕事は何ですか。

- ・テラー 入金、出金、振込みの受付、住所変更、氏名変更
- ・マネープラン 資産運用、保険商品などのご提案

Q4. 大学の時にしておくべきことや有利な資格はありますか。

- ・さまざまな経験を積む。
- ・有利になる資格はないが、自分が取ろうとする資格に対しての理由が大事である。

Q5. 採用するとしたらどういった人のどういうところを見ていますか。

- ・熱意が伝わってくる人。・地域のために働きたい人。
- ・素直に努力できる人。
- ・正直な人

Q6. なぜ銀行員になろうと思ったのですか。

金融：人の人生に貸し出し業務や担当の引き継ぎをとおして
長く関わることができる。金融は生活に欠かせないものだから
銀行：さまざまな業種の方に直接関わることができる。
宮崎銀行：規模感。行員の雰囲気がいい。地方銀行として地域の名を
背負っていること。

Q7. 本部と支店の仕事の違いは何ですか。

本部：営業店のサポート、会社全体の戦略を考える、従業員のマネジメント
支店：お客様のことを考え業務をする。

Q8. 大変なことはなにですか。

- ・勉強することが多いこと
- ・お客様が多種多様にわたるので紆余曲折を経てマネープランの提案を行うこと。話の引き出しを作ること。

Q9. 忙しい時期はいつですか。

- ・5の倍数の日付→カードの引き落とし、給与振込み、入金確認などが行われるから。

3. 宮崎で働くこと

メリット

- ・家族が近くにいる、知り合いがいる
- ・通勤が楽（満員バス、電車があまりないため）
- ・家賃が安い
- ・人が優しい



デメリット

- ・知り合いが多いからこそ、知られたくない情報が広まりやすい
- ・都会に比べて給与が低い（しかし、固定費の出費を考えると自分が使える金額は変わらない。）



魅力 宮崎特有の雰囲気と規模感

4. 感想

職場がきれいに整備されており、いかに働きやすくなるか考えられた場所だったと思った。また、私たちが想像していた厳格である銀行のイメージとは少し違い、厳格であるなかにも和やかなゆっくりとした宮崎特有の時間が流れていて、雰囲気もよく働きやすそうだと感じた。

社員の方々がみなさん生き生きと仕事をしている姿であったり、今自分のしている仕事に対して自信を持っていたりしている姿が印象的でした。また、年齢の差を感じさせない社員さんの仲の良さに惹かれました。これから自分がしていくべき課題として、今やっている部活や資格取得の勉強など、何でもいから一つだけは誰にも負けたくないような経験をしていけたらいいなと改めて考えられました。そして、今日お話を伺った社員の方々のような素敵な大人になりたいと思いました。



宮崎交通 A

岩倉・鬼塚・河野・西道・益満・三輪・渡辺・王翔宇・王安琪

1. 宮崎交通について

宮崎交通株式会社は、1926年(大正15年)に宮崎県における乗合バス事業をスタートした。創業以来地域の交通機関として公共サービスの供給を担っていた。企業の理念は「安心・安全の追求」で、全職員が安全に対する認識を持ち、徹底して行動することを目指している。また、バス事業にとどまることなく、旅行事業・保険事業・航空事業・遊園事業・不動産事業にも力を入れながら、さらなる成長基盤の構築に向け、幅広い事業展開を進めている。宮崎の地域生活産業を牽引する企業として、あらゆる可能性に挑戦し続けている。

宮交ホールディングス（株）

経営企画部

グループ営業部

財務部

業務部

システム部

宮崎交通（株）

（株）宮崎観光ホテル

青島リゾート（株）

宮交ショップ＆レストラン（株）

宮崎ビルサービス（株）

2. インタビューの内容と考えたこと



①航空部の仕事内容はなんですか。
→宮崎空港内でのANA代理店業務
(グランドスタッフ、搭乗手続きや手荷物受託、ゲート業務、到着業務など)



宮崎空港でのANAの業務も宮崎交通が行っていることに驚いた。全国的に各県の交通会社が空港(大都市除く)の代理で仕事を受理している制度があるようで、空港で働きたい人は交通会社に入社する流れが一般的であることが分かった。

高齢者の方への対応として、バスカードやサービスは充実しているが、まだまだ認知されていないのではないかと思います。
免許返納でのバス力の購入費が減額される制度は、高齢者が返納した後とても助かるし、返納に挑戦しやすくなるような良いシステムだと思った。たくさん的高齢者にもっと知ってもらってより返納することを好意的に見てもらえると良いと思う。



②高齢化社会への具体的な対応、対策(バス業務)はどんなものがありますか。
→悠々バス、敬老バスカ(宮崎市・都城市・西都市)といったサービスがある。
→免許返納(免許返納をした65歳以上の方を対象に悠々バスカの購入費を一部助成)
→ノンステップバスの運行



③仕事をする上で心掛けていることはなんですか。
→相手の立場に立って考える。
プロ意識を常に持つ。
→時間(締め切り、業務の在り方、人の時間を奪っていないか) 報告、連絡、相談の徹底。
→お客様のニーズと自分の案がシンクロしているか。



当たり前のことではあるが、これから社会に出る上でとても重要な要素だと思ったので今の自分たちの生活の中でも、できるところから実践していくべきだと考えた。

社会の変化にしっかりと対応するために、問題点を発見し改善していることが地域から愛され、信頼される会社になった要因だと思った。



④会社の改善点
→働き方改革の一環で、年次有給休暇の取得や超過労働の抑制に取り組んでいる。

3. 宮崎で働くこと

メリット

宮崎でも都会でしか入らなかった情報を取得しやすくなった

県外で働く必要もなくなった

就職先として宮崎でも日本で唯一の事業をやることができた

地元での縦横のつながりを生かしやすい

気軽に帰省でき、家族や地元の友人との密な親交がある

お客様が主に宮崎の方なので、ご当地の話がしやすい

業務においては「ここは利用者が多いだろうからバス停乗り入れをしよう」といった分析がしやすい

もともとある知識が仕事にいけるとときがある

デメリット

見聞を広めるチャンスを失った

仕事の選択肢が都会に比べると少ない

グローバルな仕事が全国的に見てもまだまだ少ない

ずっと宮崎にいと視野が狭くなる

希望の職種に就けない・職種が限られる

宮崎で働くうえでの魅力とは？

様々な事業を展開しており、多くの経験ができる新しいこと（日本・九州・宮崎初）に挑戦し続けている
⇒宮崎交通では宮崎にしながら全国を見て、様々な業種の仕事することができる



JR九州と共同で“アミュプラザ宮崎”を開業予定



イオンモール宮崎に九州初“Wendy's First Kitchen”を出店



シェアサイクルサービス“宮交PIPPA”導入

4. 感想

県内の唯一のバス会社であるため、ブランド力があると感じた。県民の足になっていることを実感することができ、地域貢献の仕事であるところに魅力を感じた。またバス事業だけでなく、ホテル事業や航空事業、保険事業などさまざまな事業に取り組めるため幅広い知識やハイレベルなスキルが得られるところも魅力の一つであった。業種がバラバラであり、プレッシャーを感じやすいがやり遂げた時の充実感が自己の成長に繋がっていくのではないかと考えた。さらに、上司と部下の距離も近く、アットホームで活気あふれる雰囲気の中、楽しみながら仕事ができる環境も良いと感じた。

宮崎交通株式会社 企業訪問B

横田真希・井野春花・井上瑠々・大津玲奈・
中井愛捺・道下愛鈴・池田雄太・明石涼・鶴塚梨沙

・ 宮崎交通株式会社について

1. 事業内容・・・バス、旅行、保険、航空、熱供給、遊園、不動産
2. 設立年月日・・・1926年5月10日
3. 代表取締役社長・・・川端史敏
4. 従業員数・・・1027名



・ インタビューの内容

Q. 求める人材

→企業理念に共感し実行できる方

Q. 仕事をするうえで心掛けていること

→お客様のニーズと自分の案のシンクロが重要となってくるため、常に相手の立場になって考えてみることを。

Q. プライベートと仕事の両立

→フレックスタイム制やノー残業デーがあるため、プライベートでの予定が立てやすい。また、日々の業務を早く終わらせられるように意識している。

Q. 外国人・県外からの利用者のための取り組み

→バス事業：VISIT MIYAZAKI BUS PASSの販売

バス停・車内音声・デジタルサイネージの多言語化

指さし帳

旅行事業：サーフィンの世界大会会場に観光案内所を設置し、県内の観光地を案内

台湾からの修学旅行生の現地手配の対応

ふるさと納税のゴルフプレイプランの手配

・ 宮崎で働くこと

メリット：地元で縦横のつながりを生かしやすい

もともとある知識が生かせる

家族や友人に気軽に会える

デメリット：グローバルな仕事が全国的に見ても少ない

ずっと宮崎にしていると視野が狭くなる

職種が限られる、希望の職に就けない

魅力：様々な事業を展開しており、多くの経験ができる

新しいことに挑戦し続けている

・ 感想

横田：福利厚生がしっかりしていて、とても優良企業だと思った。

井上：女性でも働きやすい企業だった。

道下：お客様に寄り添っている企業だと思った。

中井：思っていたよりも多様な事業を行っていて驚いた。

鶴塚：質問にも丁寧に回答してくださって会社のいいところがたくさん分かった。

井野：長い歴史の中で時代に応じて変化している会社であることが分かった。

池田：社員の方たちが仲良さそうで楽しい雰囲気だった。

明石：チャレンジ精神旺盛でいい企業だと思った。

大津：公立大の卒業生もいらしゃって親近感が湧いた。



About DELL

仲衛理沙、廣根花純、羽田野眞鈴、中村太一
原田健太郎、下西優希、三吉伴明、坂本萌笑

1. デル株式会社について

本社所在地: 神奈川県川崎市 資本金: 300,000,500円

デルは世界市場トップレベルのシェアを誇るエンドツーエンドのソリューション・プロバイダー、Dell Inc.の日本法人。
総合 IT ソリューション事業 - パソコン・モバイル端末から基幹システムやクラウドの導入支援、セキュリティサービスに至るまで包括的な IT ソリューションを提供する。

宮崎カスタマーセンター(カリノ宮崎4・5・6・7F)

■営業(内勤)

当社製品の提案営業。お客様からの購入に関するお問合せのお電話に対応し、最適な製品やサービスの提案・商談を行う。

■テクニカルサポート

当社製品のご購入後のアフターサービス。お客様からの技術的なお問合せのお電話に対応し、問題点を解決する。



2. インタビューの内容

- カスタマーセンターの人も修理などは行うのか
 - 研修で分解トレーニングも行い、全員一通りの構造は理解しているが基本的にはエンジニアを呼び修理を行う
- この職場を選んだきっかけ
 - 会社の方針が実力主義
 - インターンシップでこの会社が面白いと思ったから
 - 宮崎の中でも大きな会社だったから
 - 企業説明会に参加して楽しそうに仕事していた
 - 宮崎県に居ても全国の人と触れ合える
 - ワークライフバランスが良い
- 社内の雰囲気を教えてください
 - 年功序列はなく、基本的にフランクな職場
 - 定時帰宅しやすい環境
 - 親しくする中にも礼儀を弁えることが重要
 - 仕事はお互いにフォローし合って行う
 - ハッピーウェンズデイなどのイベントが楽しい
- デルは海外にも企業がありますが言語能力はどの程度必要になりますか
 - 応対するお客様は基本的に日本人の方が社内メールが英語だったり、英語サービスが求められる部署があったりなど英語力が高いほうが良い。
- なぜカスタマーセンターを都会ではなく宮崎に置いたのですか
 - 広いスペースが確保できる
 - ホスピタリティの精神を持つ県民性
 - コストパフォーマンスがよい
 - 県が受け入れの活動を行っていた



- 学生のうちに身につけたほうがいいスキルはありますか
 - 言語資格は特には問われないが、持っていたら有利かもしれない。
 - タイピングができると入社後困らないかも…
- 外資系企業で働くことのメリットは何ですか
 - 県外・海外への異動ができる
- 仕事をしていて大変だと思うことは
 - ある程度の知識を持っておいたほうがいいと感じた。
 - 対応できなかったと信用が損なわれる。
 - お客様の中には気難しい人もいるので柔軟対応していく能力が必要
- 仕事をする上で心がけていることは何ですか
 - 自分がしていることはお客様・チームのためだと言うことを忘れない
 - できることは責任を持つてする
 - なんでも挑戦する
 - マルチタスクをこなす上でのミスを防止する心がけ
 - 社内の人間関係で困ることはない
- 入社してからの業務
 - 新入社員には1週間ほど本社で研修を受けることが義務付けられる。
 - オペレーターになってからは2〜3か月は先輩がサポートにつく。

3. 宮崎で働くこと

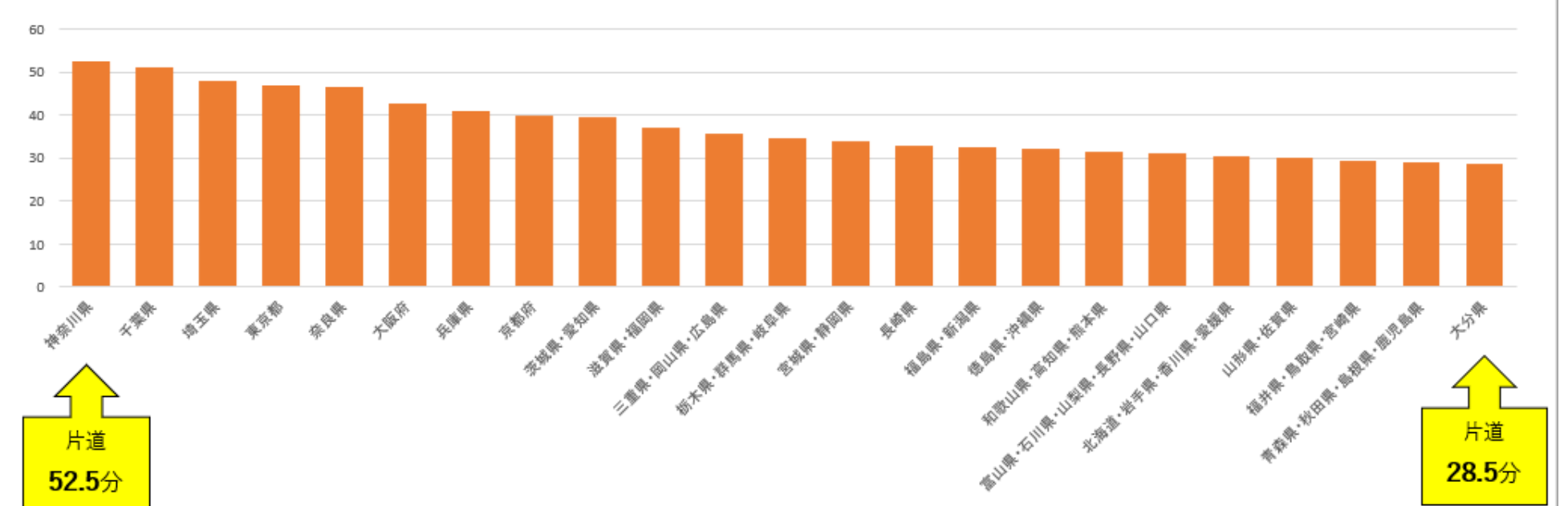
メリット

- 土地が安い、会社から近いところに住むことができる。
→ 都会では通勤時間が長く、電車も混んでいるため宮崎は通勤のストレスがない。
- 自然もあり、人も優しく住みやすい。

デメリット

- 交通の便が少ない
- 宮崎は働き口が少ないため、転職しようと思ったらお金がかかる。
- 都会にいるようなキャリアウーマンのイメージがわきにくい

【都道府県別】片道の通勤時間・通学時間



出典 アルファジャーナル

4. 感想

今回DELLを訪問させていただき、自分の将来について改めて考えることができた。IT企業で働きたいと思ったら県外に行くしかないと思っていたが、宮崎にもこのような最先端のIT企業が進出してきているんだと知り、県内就職も視野に入れていこうと思うきっかけになった。
DELLは主にデスクワークなので閉鎖的なイメージがあったが、実際に職場に足を踏み入れてみると、とてもアットホームな雰囲気を感じた。また、地域の様々な行事に参加しており、社員同士のコミュニケーションやモチベーションを高める工夫がされているのが印象的だった。今回わかったように自分の持っているイメージと企業内が大きく異なることもあるため、これからいろんなことに挑戦し、自分自身で体験しながらたくさんのことを吸収していきたいと思う。そしてそれらの体験を就活に役立てていきたい。

宮崎太陽銀行

砂川未歩 佐藤遥香 西優里 園田悠花
荒木史織 宮里航士 松井快

1. 宮崎太陽銀行について

○創立:昭和16年8月1日
○取締役頭取:林田洋二
○本店所在地:宮崎県宮崎市広島2丁目1番31号

経営理念:日進月歩の伸展・地域社会の繁栄・生活文化の向上
→地域に根差した金融機関

目指す銀行像:信頼性の高い銀行・豊かな地域づくりに貢献する銀行・**お客様から選ばれ続ける銀行**・健全で収益力の強い銀行

2. インタビューの内容



1. 宮崎で働くことのメリット・デメリットはどのようなことだと思いますか？

→○メリット:家族、友人が近くにいることで悩みを相談できる、宮崎の人が優しい、通勤時間が短い、食べ物がおいしいなど

○デメリット:交通が不便、買い物できるところが少ないなど

2. 一日の仕事の内容を教えてください。

→8:15 出勤
8:30 朝礼、オペレーション
9:00 開店、オペレーター、振り込み、新規受付等の業務
休憩 1時間
15:00 現金締め処理
16:00 当日の取引締め上げ、電話交渉（直接伺うこともある）
17:00 片付け
17:30 終礼（終わったら帰る）

3. 仕事がつらいと感じるのはどんな時ですか？

→1年目は覚えることがとても多い、難しい人の対応、交渉、後輩の指導など

4. 仕事の失敗談はありますか？

→特別大きな失敗はなく、控えの渡し忘れのような小さなミス（怒られるようなことはなく、誠意をもって謝ることを徹底している）

5. 残業はそんな時にありますか？

→ほとんどないが、月末のような忙しい日や事務処理が片付かないとき、お客様とのアポイントメントがあるときに残業する

6. なぜ宮崎太陽銀行を選んだのですか？

→アルバイトで接客業が好きだった、長く働ける、時間が決まっていて福利厚生がしっかりしている、自分が学ぶことができる、先輩や上司が優しく、堅苦しくないイメージ、対応してくれた人が丁寧で優しく、自分もこういう風になりたいと思ったなど

7. 初任給はどれくらいですか？

→以前は14万円、現在は17万3千円（大卒エリア）、試験等でキャリアアップすることにより昇給できる

8. 育児休暇や普通の休暇は取りやすいですか？

→休暇はすごく取りやすく、職場離脱制度、ヒューマンケアホリデー等もあり、休暇の延長や短時間勤務もできる、担当者は男性でしたが、自分も育児休暇を取ることができたとお話ししており、また復帰した人たちには親としての話を会社の中でも広めてほしいと話していた

9. 研修はありますか？

→研修は多いほうである、3月くらいに始まり、現場では先輩のそばに付いて、指導を受けることができる、実務に向けて1カ月半ごとに5回行われている（業務内容ばかりではなく、気持ちの面のサポートのための研修もある）

10. 入社前、または入社後に取得しなければならない資格等がありますか？

→入社前:秘書検定3級

入社後:証券販売の資格

ファイナンシャルプランナーの資格

取っておいたほうが良い資格:簿記、電卓検定

3. 宮崎で働くこと

地方であるという点にはデメリットだけではなく、地方であるからこそそのメリットもある

メリ
ツ
ト

- ・通勤時間が短く、全国でも一位！
- ・家賃、物価が安い
- ・食べ物がおいしい
- ・自然がたくさん
- プライベートが充実する
- ・人が温かい

デ
メ
リ
ツ
ト

- ・交通の便が悪い
- 車での通勤が必要になる可能性が大きい
- ・賃金の低さ
- ・ネット環境があまり整っていない
- 情報収集が難しい
- ・外で仕事できるスペースの少なさ

5. 感想

どんな銀行にも企業理念というものがありますが、宮崎太陽銀行が目指すのは「お客様から選ばれ続ける銀行」です。パソコンやスマートフォンから取引できるようにとweb支店が作られ、お金以外の商売悩みも受けたいという思いからお客様の夢を登録するようなシステムがあったり、お店の取引先を銀行から探すというマッチングビジネスをしたり、行員自らがお客様の立場になりお店に足を運んだりしています。また、銀行員の仕事は、事務ではなく、人付き合いや話すことが大事な接客業であると話す姿勢からも目指す銀行像への努力が感じられた。

宮崎太陽銀行は、お金を預かったり、貸したりするといった金融機関の働きをしつつ、地域に根差した銀行となるために様々な活動をしていた。

宮崎太陽銀行の方のお話を聞いて、私たちもこういうお客様に信頼されるような職場で働きたいと思った。



石原美衣奈
鎌田将暉
木下莉那
久保田夏貴

齋藤賢大
坂元海月
白木洸哉

宮崎市役所

橘俊二
福田あゆみ
南来希

山根帆乃夏
寺原由夏
和田夏妃
野中郁花

宮崎市役所について



住所
〒880-8505
宮崎市橘通西 1 丁目1番1号



事業内容

地域振興部→戸籍・住民登録に関する事や交通安全・市民活動促進
総務部→議会に関する事や防災に関する事を行う
税務部→市税に関する事や年金に関する事を行う

企業理念・経営理念

「市民が主役の市民のためのまちづくり」

まちづくりの基本目標

- 1：良好な生活機能が確保されている都市
- 2：良好な地域社会が形成されている都市
- 3：良好な就業環境が確保されている都市
- 4：魅力ある価値が創出されている都市
- 5：地域特性に合った社会基盤が確保されている都市

よくある質問

Q 採用された後の配属や人事異動は？
配属先については配属移動の意向をうかがう機会を設けている。
なるべく若いうちに多くの業務を覚えてほしいという目的で、おおむね採用から10年間は原則3年で移動する。

Q 市役所の部・課・係数は？
23部、2局、98課、397係（平成31年4月1日現在）

Q どのような業務があるのか？
税務や福祉、教育やまちづくりなど。

Q 勤務時間は？
原則として、月曜日から金曜日の午前8時30分から午後5時15分まで。
土・日曜日・祝日及び年末年始（12月29日から1月3日まで）は休み。
※職種や勤務場所によって異なる場合がある。

インタビューの内容

- Q 公務員試験を受けるときの勉強法は？
大学に入りながら公務員学校に通い、ダブルスクールをしていた。
- Q 市役所の中で部活のようなものはあるか？
ある。様々な部活があり、入っている人も多い。様々な部署の人とつながる良い機会。
- Q 市役所の方が考える学生と社会人の大きな違いは？
行動に責任が伴う。（仕事でもプライベートでも）
- Q就職するまでの間に学生のうちに頑張ったことは？
授業も含めて様々なことに挑戦すること。（留学など）
- Qゼミでしたことは？
宮崎市のことについて学んだ。

宮崎で働くこと



◎メリット
自然豊か
将来のプランが立てやすい
気候が快適
物価が安い

×デメリット
交通が不便
給料が低い
遊んだり、出かけたりする場所が少ない



感想

給与が安定していると感じた

たくさんの部署があることに驚いた

実際に担当の部署で働くことが決まった時、知らないことが多いと仕事の迷惑となり、自分も困るので、知っていることを増やす必要がある（特に宮崎の情報）



MANGO A

黒木・坂本・小倉・吉本・李・水野・森田・八木・平井

1. MANGO 株式会社

代表者：高橋 勇太
設立：2009年10月
資本金：30,000,000円
株主：株式会社セプターニ（100%）
所在地：宮崎オフィス 〒880-0806 宮崎県宮崎市
広島2-5-16 興亜宮崎ビル6F
事業内容：運用型デジタル広告オペレーション事業



2. MANGOの事業内容

独自の営業部門がないMANGOは主に、国内トップクラスのデジタルマーケティング企業であるセプターニのグループ企業で、営業マンと協力し、デジタル広告の管理・運用・広告提案等のコンサルティング業務、出稿管理・広告データ集計等のオペレーション業務を専門領域としている。Yahoo!・Google・Facebook・Twitterなどをパートナーに、グローバルへと繋がる仕事を行っている。



3. MANGOのコア・バリュー



「コア・バリュー」は、メンバー全員が半日かけて、働く上で大切にしたい価値観を語り合い、作り上げたもの。

4. 質問回答

宮崎で仕事のメリットとデメリット

メリット：

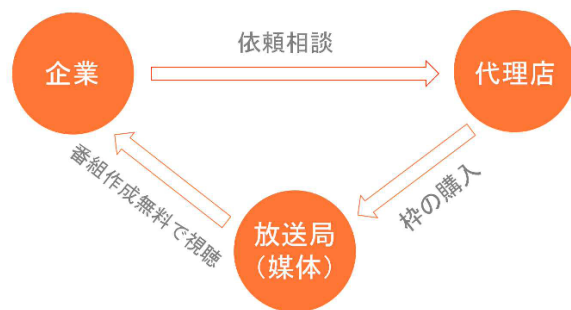
- ・ 宮崎はコミュニティがコンパクトなので、色々なジャンルの人々と出会う。
- ・ 人々が温和である。

デメリット： 特になし、強いて言えば交通に難があるところ。（主に通勤を利用していることが前提とする、EC以外のショッピングには不便があると考えられる。）

インターネット広告を通じて、インターネットをどのように盛り上げ、そしてその利用ユーザーにどのようにアプローチしていくか

企業から広告依頼を受けた広告代理店が、テレビ局から放送する時間枠を購入することで広告費を得て、その費用でテレビ番組を作成する。そして広告代理店の作成したCMが視聴者に届き、宣伝している商品を購入することで企業に還元する。

インターネット広告の場合、テレビ局をGoogleなどインターネット媒体に、番組も無料な検索・コンテンツサービスに変える。こういう循環によって、インターネットを盛り上げる。また、利用ユーザーにアプローチしていくというよりも、企業から視聴者までの流れをうまく循環させていくことが我々広告代理店の役目であると考えている。



働きやすい環境を構築するための努力

周りから認められる、ありがとうと言われることを重視する。そのため、年一回必ず感謝のメッセージを送られる。

プライベートを重視する。残業なし・週休二日制を完全導入、社員の副業を許可する。

なぜ宮崎に拠点を設置したのか

東北、沖縄、宮崎が候補地になった、沖縄は「スピード対応」の社風と相性が悪い、東北気候の悪さを考慮してうえ、宮崎市政府における便宜などを総合的に考えた結果、宮崎を選定した。

大変なところ

- ・ おもにインターネットを使って、セプターニと情報共有ことにおける、地理的の遠隔が業務に支障になっていないが営業担当者との連絡がつきにくい。このことから営業担当者が多忙の中でも読みやすいメールを作成するスキルが身に付いた。
- ・ デジタルマーケティングはアップデートが多いため覚えることがたくさんある。

会社のイメージの変化

- ・ 入社前は、デスクワークのみで机と向き合うイメージであったが、そんなことなく隣の社員と和気あいあいと作業したり、自分のスケジュールで早く仕事が終わらせられる。
- ・ 全体的に、いいイメージの変化しかない。

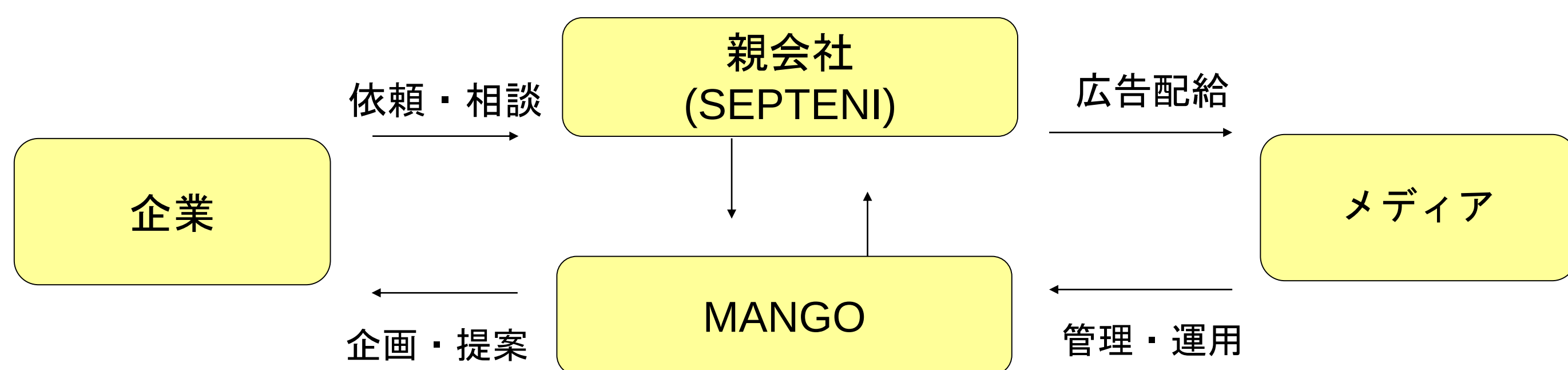
M A N G O株式会社（B）

芝原あかり 出水薫乃 山田麻結 松崎達英 橋口美空 久家三奈 海江田紫苑 徳丸真菜 立川友菜

M A N G O株式会社とは

● 会社の特徴

M A N G O株式会社は、宮崎市にオフィスを構える、インターネット広告のオペレーションおよびコンサルティング事業をおこなう会社です。インターネット広告とは、インターネットのサイトやメールを使用した、企業の宣伝活動のことを指します。M A N G O株式会社は国内トップクラスのデジタルマーケティング企業であるS E P T E N Iのグループ企業として、インターネット広告の管理・運用・広告提案等のコンサルティング業務、出稿管理・広告データ集計等のオペレーション業務を専門領域としています。



M A N G Oでは、会社設立時に従業員全員が投票をし、半日かけて決定されたコア・バリューがあります。それは得票順に、チームワーク、責任感、挑戦、笑顔です。これをもとに、従業員みんなが同じ価値観・志を持って、日々仕事に取り組んでいます。この、同じ価値観や志を持つM A N G Oで働く「人」が、会社の強みであるとおっしゃっていました。遠い距離を超えて東京の人たちとチームを作っていることの秘訣でもあると思います。

また、その強みである「人」を、直接オフィスに入らなくてもアピールし知ってもらえるように、実際に働く人たちの紹介を、会社のホームページで行っています。

ほかにも、仕事のやりがいをととても大切にしていました。会社設立当初は東京本部の受け身のようなものだったのが、グループ会社の仲間として一緒に取り組むというように変化したことにより、一層やりがいに感じられるものとなったそうです。さらに、ともに働く仲間をたたえるため、年に1回、匿名で「ありがとう」を送るものや、今年から始まったコア・バリューアワードというとても印象的な取り組みが行われていました。ほかにも3年目の社員から適応されるフレックスタイム制や、個人のスキルをほかの場所でも生かせるようにと副業制度がありました。

チーム
ワーク

責任感

挑戦

笑顔

● 会社の仕事

実際にM A N G Oで行われている事業の流れは、

①設計：広告を配信する相手を、年齢や性別、地域ごとに設定する。また、配信するためのアカウントを作成する。

②配信：実際に広告をバナーや動画などの形で配信する。その際に、配信、クリックなどをカウントする。

③レポート：カウントしたデータをエクセルで整理する。

④分析：実際に配信された広告が企業の依頼とギャップはなかったか、また、どのような効果があったかなど、様々な角度から徹底的に分析を行う。

の4つです。①と④の業務はコンサルティング課、②はメディアオペレーション課、③はデータインテグレーション課と各部門ごとに分担して行われています。

広告を出す媒体として、Yahoo!・Google・Facebook・Twitterなどがありますが、コンサルティング課では、1課がYahoo!・Google、2課Facebook・TwitterなどのSNS専門とさらに細かく分かれていました。

インタビューの内容

当日、私たちの案内をしてくださった人事部の方と、公立大出身で入社2年目の方3名にインタビューを行いました。質問と得られた答えは以下のものです。

- 宮崎で働くことのメリット・デメリットはどのようなものがありますか。
 - ・メリット：通勤時間がそんなにからない、コミュニティがコンパクトでいろいろな人とつながり何かすることができる
 - ・デメリット：地元が九州以外だと帰省するのが難しい
- なぜ宮崎で、なぜM A N G Oで働こうと思ったのですか。
 - ・大学で宮崎に来て、宮崎の人々の温かさにほれたから。
 - ・元々メディア業界に興味があり、またサークル活動でSNSを用いたイベントの宣伝を行ったことがきっかけでもっと深く興味を持ったから。
 - ・企業の合同説明会に行った際、担当者の雰囲気の良いさや、完全週休2日の制度があることにひかれたから。
- 会社に入社する前と後で、会社のイメージにどのような変化がありますか。
 - ・パソコンの業務は大変そうと思っていたが、自分でスケジュールを管理したり、ほかの人と協力することで先月の残業は月に40分だったりと、悪いことはない
- 今までの仕事で、最もやりがいを感じたのはどのようなときですか。
 - ・課ごとの月の達成目標が月末にあと少しでクリアできるかできないかという状況のときに、一人ひとりの頑張りでクリアできたこと。
- デジタルマーケティングならではの苦悩は何かありますか。
 - ・新しいサービスや仕様などへのアップデートによって、覚えることがどんどん増えていくこと。
- 行動規範に「挑戦」とありますが、何か今挑戦していることはありますか。
 - ・ほかの課の仕事を勉強、また自分たちの課の仕事を教えること。そのために、自作の教材を作成したり、勉強するための時間を確保したりすること。
- パソコンのスキルなどはどのように身につけましたか。
 - ・会社に入社して、仕事をしながら学ぶ。
 - ・入社時の研修にて学ぶ。
- なぜ宮崎で会社を設立することになったのですか。
 - ・地方の誘致企業制度を利用すると決まっていた、候補地3か所を気候や人柄などで比較し、宮崎に決定した。

企業訪問の感想

広告は、SNSが普及している中で必ず目にするものなので、企画する会社とメディアをつなぐとても大切な仕事であるということを実感しました。それぞれのユーザーに適切な広告を流すために、ただ配信するだけではなく、配信後にレポートや分析などの多くの過程を踏んで、私たちに合う広告が選択されていることがわかりました。また、IT関係の仕事は、主に個人でパソコンに向かって黙々と作業をしていくというものだと思っていましたが、M A N G O株式会社は列ごとにそれぞれの部門で分担して作業をしていたため、同じ部門の人々との距離が近く、より働きやすい雰囲気では仕事ができているのではないかと感じました。さらに、宮崎にいながらも、都市部の企業とつながり仕事ができることは、地方で働くことのメリットにもなると思いました。



フェニックス・シーガイア・リゾートA

柴下千夏 大石海由奈 阿孫美里 高峯菜央 山口一葉
駱甜 瀬尾佑季 工藤有紗 横山羽南



フェニックス・シーガイア・リゾートについて

1) 正式名称 (商号)

フェニックスリゾート株式会社
PHOENIX RESORT CO., LTD.

2) 事業内容

ホテル・ゴルフ場・スパ・レジャー施設・温泉等の複合型リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」の運営

3) 代表者・所在地・設立年月日

松永 裕文・宮崎市大字塩路字浜山3083番地・昭和63年12月27日

4) 資本金・売上金・従業員数

9,338万円・93億・750名

5) 企業理念・経営理念

Mission (使命) 感動体験を創造し続け、お客様を元気にする

Vision (ありたい姿) 多くのファンに愛される大人リゾートになる

Value (私たちの価値) 自然の恵み×おもてなしの心 美しく雄大なロケーションと、それを楽しむためのおもてなしと食の体験



インタビューの内容

質問1) 学生時代の学びや経験がどのように役立っているか？

→語学力は、電話対応などに役立つ。2年間の留学経験で度胸がつき、仕事に対して怯むことがなくなった。また、レポートを作成することが仕事でもあるので、ゼミで身に着けた文章をまとめる力は今でも役立っている。

質問2) 仕事を辞めたいと思ったことはあるか？

→ある。体力的にきついとき。悩むことがあっても、会社に相談すれば対応してくれるから続けられた。

質問3) 融通のきくシフト体制になっているか？

→シフトは、1ヶ月ごとに希望をだす。休みは比較的取得しやすいが、イベントなどがあるときは、忙しくなるため避ける。

質問4) 給料はどのくらいか？

→新卒は、約17万程度。昇級は年に1回、評価は年に2回行われる。

質問5) 仕事をする上でのやりがいはいくつか？

→接客担当の仕事が忙しく手伝いをするときに、お客様と直接対面したとき。笑顔を見たとき。自分が採用した人、もしくは育成した人が評価されたとき。

質問6) この仕事のために特別に何かやっていることはあるか？ (個人的に)

→パンフレットを作成する仕事だから、常に情報やトレンドを集める癖をつけるために通勤などの移動中はラジオを聴いている。人事についての仕事だから、法律の勉強をしている。

質問7) 人を新たに雇うときに、一番重きを置くところはどこか？

→身だしなみ、コミュニケーション力、どの部署に適合しているか。

質問8) 外国人観光客に対して、何を行っているか？

→航空会社との連携。オンライントラベルエージェント。スポーツチームの合宿受け入れ。

質問9) フェニックス・シーガイア・リゾートならではの文化はあるか？

→社員の声を聴く掲示板のようなもの (イーボイス)。女性が働きやすい会社。

宮崎で働くこと

宮崎で働くことのメリットとデメリットはどのようなことだと思うか？

→メリット: 宮崎出身ならば家族の近くで働ける。宮崎は日本を思わせないリゾート的な面がある。移住しやすく、人々が穏やかでる。

デメリット: 交通の便が悪い。



感想

接客業だから土日休日も出勤するという大変なイメージがあったが、そのぶんやりがいや平日に休みを取ることができるというメリットを知ることができた。

フェニックスリゾート株式会社

北村・神代・大城・友成・小林・東・田口・岡本・坂本・原

1. フェニックスリゾートについて

①正式名称 フェニックスリゾート株式会社

②事業内容

ホテル、ゴルフ場、スパ、レジャー施設・温泉等の複合型リゾート施設「フェニックス・シーガイア・リゾート」の運営

③企業理念・経営理念

「感動体験を想像し続けお客様を元気にする」



2. インタビュー内容

①やりがい・大変なこと

■ やりがい

- 普段は事務職なので、お客様と直接会ってお話をするとき
- 自分が採用に関わった社員が活躍しているのを実感したとき

■ 大変なこと

- 落ちた売り上げを他の方法でカバーしなくてはいけないこと
- 人事部は採用する人の人生を決めかねないことなので慎重にならないといけないこと
- どの部署がどのような人材を求めているか把握して、採用者を決めること

②心がけていること

- 情報を積極的に集めること

例：車での移動の時はラジオを聴く

- 法律（労働基準法、派遣法）の勉強

③学生時代の学びで役に立っていること

- 語学力

→海外からのお客様にから対してもスムーズに対応できる

- 留学

→留学時にいろんなことに挑戦する度胸がついた

→仕事をするうえで有利になることがある

⑤フェニックスリゾートの特徴や文化

- 社員の中で様々な同好会がある
- 男性も女性も平等に意見ができる
- コトづくり・コト届け

例：社員が自分の意見を自由に書き込むことのできる掲示板e-voice

⑥宮崎一の美味しいリゾート

- 思い出に残る「食」の提供
- 「食」と「体験」

例：風まちテラス

→ピクニックをしながら宮崎の「食」を味わうイベント

⑦海外営業

- 国際営業課が韓国や中国、台湾に営業を行う
- スポーツ合宿の宿泊所
- 外国語を話せるスタッフには外国語バッジを付けてもらう
- 外部講師による外国語の社内研修の実施

3. 宮崎で働くこと

メリット

宮崎出身者は、地元にいながら広い仕事ができる

デメリット

交通の便が悪い

都会と比べると情報量が少ない

4. 感想

- 社員全員が高いロイヤリティを持って仕事に取り組んでいることが分かった
- 男女平等に意見ができるのはとても良い風潮だと思った
- 語学力が役立つ場面が度々ある
- 社会人として働くことの大変さと責任の大きさに不安を感じるが、悩んだときは周りの人に相談することが大切だと実感した



1. ホンダロックについて

■事業内容

自動車部品製造

■代表者

高橋登

■所在地

宮崎市佐土原町下那珂3700番地

■成立年月日

1962年4月5日

■資本金・売上高

21.5億円・311億8400万円

■従業員数

連結：9170名、単体：954名

■企業理念・経営理念

「企業哲学(ホンダフィロソフィー)」 人間尊重 ・ 自立 ・ 平等 ・ 信頼 喜びの創造

2. インタビュー内容

■会社の強み

- ・モノづくりの開発・生産から販売まで全て自社で行っている。
- ・宮崎にしながら海外で活躍できる。
- ・ホンダと同じような福利厚生待遇が受けられる。

■会社の弱み

- ・オリジナルブランドがない。
- ・従業員が多いため、体質や風土を変えるのに時間がかかる。

■文系はどのような仕事を担うか

- ・営業や原価企画、生産管理など

■どのような人材を求めているか

- ・自ら学び、行動する心を高く持った人材

3. 宮崎で働くこと

■メリット

- ・家族や友達が近くにいることが心強い

- ・物価が安い
- ・通勤時間が短い

■デメリット

- ・交通の便が悪い
- ・県外に行きづらい
- ・賃金が低い



5. 感想

- ・福利厚生が充実していてよかった。
- ・大学生の間に自分がどのような能力を持っているのかを理解することが大事だと思った
- ・地域貢献にも力を入れていて宮崎とのつながりを強く感じた
- ・社食がおいしかった
- ・宮崎から海外のニーズにこたえられることがすごいと思った



東京海上日動火災保険訪問

松尾美雪・前田沙里・中野すみれ・岡本真布・金丸実幸

東京海上日動火災保険株式会社

明治12年、明治維新によって貿易が盛んになり、その貿易船の保険として始まった。
その後火災保険が始まり、戦後の経済成長を機に自動車保険が始まった。
現在は海外事業にも力を入れている。
→理由：労働人口の減少・地震大国という問題を抱えている日本は、海外展開をすることによって、リスク分散ができるから。

・宮崎支店では、①営業（代理店への対応）②損害サービス（事故対応）という2部門にわかれて業務を行っている。
また、地方創生にも力を入れており、ハザードマップの普及やBCPセミナー・物産観光フェアの開催を行っている。

・“To be a good company”というスローガンのもと、「自由闊達」「チームワーク」を心がけている。そのため、上司を肩書ではなく名前と呼んだり、新入社員のころから大きな仕事を任せたりしている。

・自分のキャリア設計に応じて勤務地が選べるように、「グローバルコース」と「エリアコース」が用意されており、エリアコースの中でも、宮崎内と九州内で選ぶことができる。
また、コースの移動を希望することも可能。

2 インタビューの内容

- ・保有しているといい資格
FP（ファイナンシャルプランナー）
- ・やりがい
お客様の役に立てること、感謝の言葉を受けたとき
- ・保険会社としてのノルマはあるか
全体としての目標はあるが、個人はない
- ・どうしてこの会社に就職しようと思ったか
 - ・保険は暮らしに必要不可欠である
 - ・働きやすい環境が整っている
 - ・いろんな業界の人と話す機会がある
 - ・セミナーに参加して、雰囲気よかったため、大変そうだがやりがいがある

3 宮崎で働くこと

○宮崎で働くこと

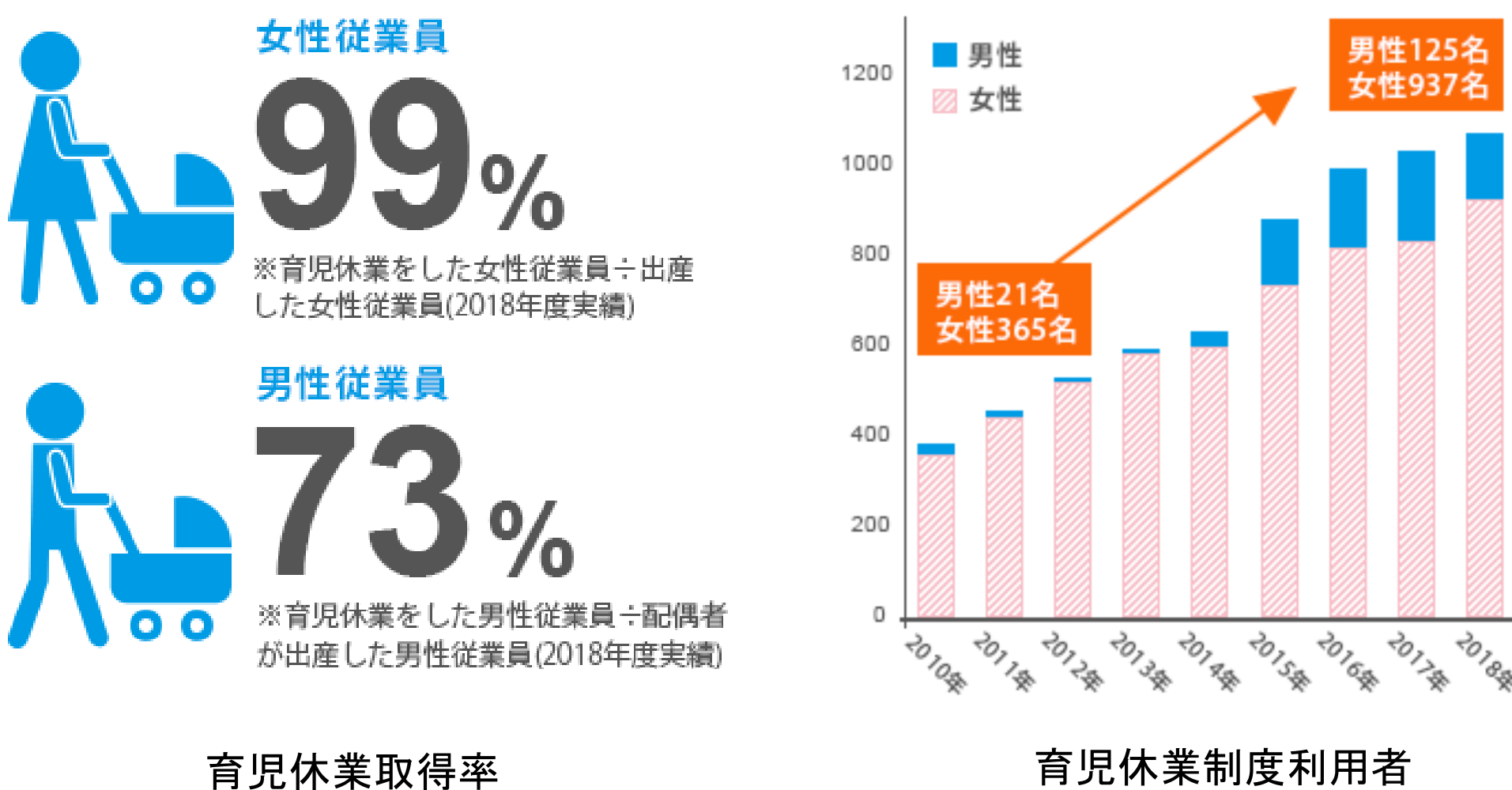
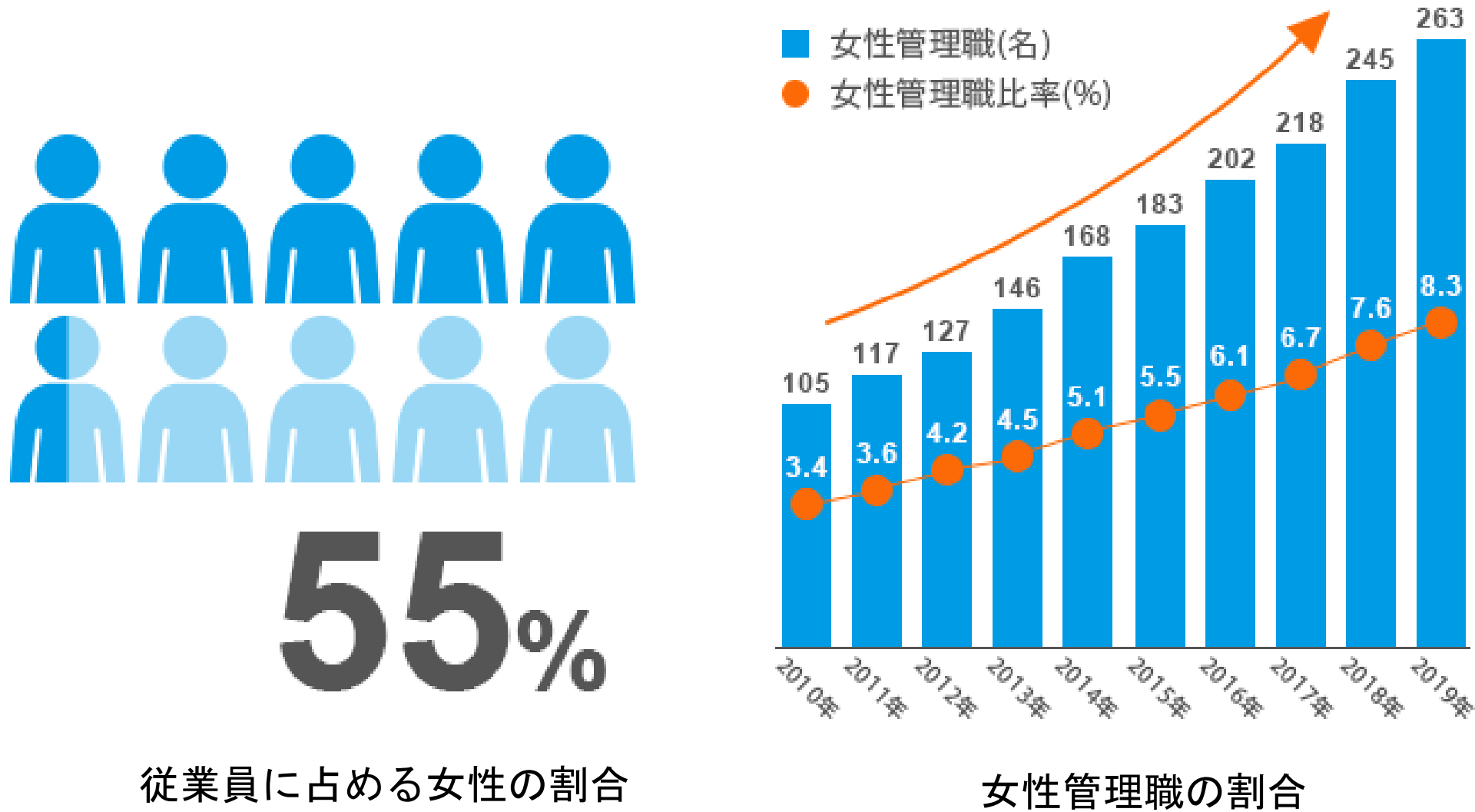
メリット：宮崎に貢献でき、活性化につながる
仕事と家庭の両立がしやすい
デメリット：人口が少なく、規模が小さい



女性活躍に対する取り組み

これまでの取り組みの結果として、仕事と育児を両立してキャリアアップを目指す社員が増えるとともに、女性管理職の数も2010年の105名から2019年は263名に増え、営業や損害サービス第一線の責任者としても多くの女性が活躍しています。

女性役員の登用も積極的に進めており、2019年現在、3名の女性執行役員(うち1名は常務執行役員)、2名の女性社外監査役がおり、多様な意見を経営に活かしています。



5. まとめ

訪問を通して、保険会社の概要を知り、私たちの生活に必要不可欠なものであることを実感した。
また、保険にも様々な種類があり、状況に応じて使い分けていることを知った。
女性の活躍のために企業側が様々な働きかけを行い、実際に女性が活躍しているので、本当に女性が働きやすい会社だと思った。
保険会社で働くという選択肢も増えたので、私たちにとって有益な企業訪問となった。

霧島酒造 企業訪問

河野亜美 鬼束真由 脇元碧希 吉村美空 梶井紫生奈 井ノ久保里沙 植村奈緒
佐藤もも 山本代来

1. 企業情報

正式名称：霧島酒造株式会社

事業内容

→酒類の製造および販売

レストラン事業

代表者：江夏順行

所在地：宮崎県都城市下川東

4丁目

28号1番

設立年月日：大正五年五月

資本金：2.589万円

売上高：659億円

従業員数：685名

企業理念

- ・価値の創造
- ・感動の創造
- ・信頼の創造

経営方針

- ◎チャレンジ
- ◎クオリティー
- ◎ハートフル
- ◎ローカリティー



2. メリット・デメリット

宮崎で働くことの

○メリット

・どこへ行くにも自分の車で移動できる。車で移動するのが好きな人や公共交通機関での移動が苦手な人には好都合。

・電車に乗る際は都会のような満員電車ではなく席も空いていることが多いため、楽であり安心できる。

○デメリット

・打合せ等でこちらが出向く際、大半の場所には車で行かないといけないため移動が大変。



3. インタビュー

①どのように知名度をアップしたのか。

→黒霧島をメインに足場を組みながら全国展開していった。（通勤中のサラリーマンに商品を配るなど、実際にお客様に試してもらうサンプリングを行った。）また、健康志向を強調した広告を作ったり、焼酎ブームに乗ったりした。

②広告宣伝で力を入れたことは何か。

→他社の商品のレイアウトを研究して、それに勝るものを作る。会社全体で取り組んでいることをPRする。（“食と焼酎”、“健康と焼酎”などのキャッチフレーズを利用する。）

③学生が今のうちに準備しておくことは何か。

→自分は何をしたいのか、自分はどういう人なのかを明確にしておく。社会人とたくさん関わって社会人になることのイメージを持っておくことで視野が広がる。

⑦今後の目標は何か。

→お客様の満足度をアップさせる。お客様に来てよかったと思ってもらう。霧島酒造のファンをたくさん作る。

⑧都城に本社を置くことで大変なことは何か。

→特別大変なことはない。（今の時代はウェブ会議などができるため便利である。）

⑨宮崎で焼酎を作ることのメリットはなにか。

→焼酎造りには米、さつまいも、水を原産としている。この3つはすべて宮崎、鹿児島でそろえることができるため自然の恵みを十分に使うことができる。地元の商品だからこそ愛着を持ってもらう。

4. 感想

霧島酒造を訪問し、様々なお話を聞くことができ、とても良い機会となりました。まず感じたことは、社員同士の仲の良さ、アットホームな空気感です。働く上で、職場の雰囲気はとても大事だと思うので、それが商品の人気にも繋がっていると感じました。また、様々な部署があり、一つの商品に多くの人に関わっていて、商品一つのために多くの人が努力していることを知り、とても感動しました。今回いただいたアドバイスの中にもあったように、色々な企業を訪問して視野を広げ、将来自分がどんなところで働きたいかイメージをもっと、膨らませていこうと思います。

宮崎県庁A



徳永ひかり 徳永和香 安楽湖子 田中里沙 田中凜 竹崎友香 小瀬木仁美 久保田真由

宮崎県庁について

①正式名称

宮崎県庁

②事業内容

暮らし、健康・福祉、雇用・産業、教育・文化、社会基盤に関わる業務全般

③代表者・所在地・設立年月日

代表者 宮崎県知事：河野俊嗣

所在地 宮崎県宮崎市橘通東2-10-1

設立年月日 1873年（明治6年）1月15日

④資本金・売上高・職員数

資本金 地方自治体のためなし

売上高 地方自治体のためなし

職員数 17,213名

⑤企業理念・経営理念

- ・未来を担う人材の育成確保
- ・関係人口の創出と観光、交流の拡大
- ・安全、安心な暮らしの確保
- ・力強い産業づくりと交通、物流基盤の充実



インタビューの内容

①宮崎で働くことのメリットとデメリットは何ですか？

→メリットは職場と家が近く通勤しやすい点、待機児童預かりの制度が整っており子育てがしやすいため働きができる点、物価水準が低いいため住みやすい点、温かな人が多く人が良い点が挙げられた。

→デメリットは特になし。

②どんな人が県庁で働くのに向いているのか？

→一つ一つのことをコツコツできる人や前向きな人！
→県民の方からクレームの電話が来ることもあるがへこたれずに頑張る人！

③育休の取得率について

→女性はほぼ100%、
男性は10%を超える
目標は男性15%にすること



④部署や課の移動について

→希望を出して、希望先に空きができたり、本人の適性を加味したりして移動が決まる。

⑤出張について

→入庁後7,8年あたりで希望者が各県庁や大手企業（ANA、SONYなど）に約1年、多くて3~4年派遣される。他県の県庁と人事交流をしたり、各企業の企画に関わったりと色んな経験を積むことができる。

⑥市役所と県庁の違いとは何か？

→共通点 公共性や県民のために働いていること
信頼性を特に大切にすること。

→相違点 市役所では住民と密に接する

県庁は市町村をまたがる事業（道路や橋づくり）、宮崎牛といった宮崎全体を代表するようなブランドについての業務が多い。県庁が市町村と国の間の立場に存在している。

⑦研修はあるか、またあると便利な資格などはあるか？

→研修はないが、県庁職員としての心構えや横のつながりをつくるイベントはある。また、ExcelやWordができるとよい。

⑧民間企業との違い

民間企業は営利目的であるが、県庁は県民に尽くすことが目的である

⑨大学のうちにやっておいたほうがいい事

本を読んで理解しまとめる力
今の大学生活の経験を大切にし、その経験からやりたいことを決めていく

⑩一日のたまかな業務の流れ

業務時間 8:30~17:15

①新聞を読んでイベントのリサーチや全国の取り組みを学ぶ

②メールをチェックする

宮崎で働くこと

メリット：都会と比べて通勤距離が短い

子育てがしやすい

全国的に見て男性の育児休暇取得率が高い

物価が安い

人が優しい

デメリット：交通の便が悪い

娯楽施設が少ない



感想

私たちの持っていた県庁のイメージとあまり違いはなかった

職員の方々も優しく働きやすそうだった

市役所と県庁の違いをもう少し深く知りたかった

公務員試験のためにもっと準備をしてくださいと言われ
と思ったが、今の大学生の経験を大切にし、その経験からやりたいことを決めてくださいと言われ、今の生活を大事にしていくべきだということを学んだ

宮崎県庁

北山舞 大石日奈子 中畑沙耶 廣瀬愛理
野元みいな 河野瑞樹 杉尾勇斗 佐藤宏一

1. 県庁について

◎正式名称
宮崎県庁

◎事業内容
暮らし、健康・福祉、雇用・産業、教育・文化、社会基盤に関わる業務全般

◎代表者・所在地・設立年月日
河野俊嗣・宮崎県宮崎市橘通東2-10-1・1873(明治6)年1月15日

◎資本金・売上高・従業員数
資本金、売上高ともに地方自治体のためなし。
職員数は17,213名(2017年度)

◎企業理念・経営理念
宮崎を日本のひなたのような存在へ。



2. 宮崎で働くこと

◎宮崎で働くメリットとデメリットとは？

～メリット～

- ・職場と家が近い
- ・子育てしやすい
- ・物価が安い
- ・人が優しい

～デメリット～

- ・交通の便が悪い
- ・賃金が安い

◎宮崎県庁に就職した理由

➡様々な分野に興味があり、県庁では様々な業務内容の仕事があり、色々知ることができるから。

3. インタビューの内容

・県外への転勤はどこになるか

➡福岡、大阪、東京に事務所があり入庁10年くらいの職員が転勤する。期間は2、3年ほど。また、大手企業や各省庁へ派遣される場合もある。大手企業には、ANAやSONY、東京海上日動などがあり、派遣期間は長くて3、4年で、大体は1年くらい。県外で働きたいという人が対象である。

・市役所と県庁の違い

➡仕事のスケールが違う。市役所は対住人であるが、県庁は市町村の区域を越えた仕事を行う。

＜採用試験について＞

試験勉強は1年前から半年前に開始する人が最も多い。勉強時間は1日1時間～3時間未満の人が多いという結果だった。

◎一次試験

過去問を解いて量重視の勉強。出題数の多い分野を重点的に行う。

◎二次試験

二次試験は面接、論作文のため学校の先生と練習したり、友人と練習したりしたほうが良い。また、自己分析をしっかりと行うことも重要である。

5. まとめ

県民と密接にかかわるのでやりがいを感じられる仕事だと思いました。対市民の市役所と比べて、県庁は直接かわることは少ないけど、陰で私たちの生活を支えてくれているんだなと思いました。また、対応してくれた職員の方は県外出身でしたが、お二人の話を通して、私たちの予想以上に宮崎の良さを発見することができました。国と市町村の橋渡しの役割を担っていることを再認識できました。試験対策のお話を聞いて頑張ろうと思いました。





JA宮崎

中央会・信連・経済連・共済連 グループA



三浦美寿々 横山華明 海野真衣 遠藤花保 飯星愛海 川崎将人 工藤なほ子 河村大輝 中村豊

1. JAの概要

○JA（農業協同組合）とは・・・
Japan Agricultural Cooperativesの略

相互扶助の精神のもとに農家の営農と生活を守り高め、よりよい社会を築くことを目的に組織された*協同組合。営農や生活の指導以外にもさまざまな事業⇒総合事業を展開

*株主・専門家・顧客の三者が独立する株式会社とはことなり、協同組合は出資者・経営者・利用者がすべて組合員の一体である。⇒三位一体的

○主な事業

- ・営農指導
- ・経済事業
- ・信用事業
- ・共済事業
- ・その他（高齢者福祉事業、関連会社による事業）

○JAグループ宮崎の主な取り組み

1.所得アップGO!GO!テン+

JAグループ宮崎では、「生産性向上」、「販売力強化」、「営農基盤強化」に取り組み、組合員の『最大限所得確保』の実現に向け、組合員とともに運動に取り組んでいる。

2.組合員の参加・参画促進への取り組み

組合員との関係性をより深めるため、組合員のニーズを把握しながら、組合員のJA活動・運営等の参加・参画の促進に取り組んでいる。

準組合員には「食」と「農」、「JA」に関する情報発信等を通して、段階的に関係性を深め、食と農を通じたJA活動への参加・運営参画を進めている。

2. JA四連について

○JA宮崎経済連

- ・宮崎農業の発展
- ・食の架け橋としての社会貢献
- ・経営理念 変革 創造 貢献

○JA宮崎信連

貯金業務 貸出業務 資金証券業務 受託業務

○JA宮崎共済連

- ・普及推進部門
JA共済を広げ、人々の暮らしを守る
- ・支払査定部門
共済金を支払い、人生の窮状を救う
- ・事務指導部門
組合員・利用者の顔となるJA窓口をサポート

○JA宮崎中央会

〔宮崎の農業振興に対して〕

- ・行政への農業政策の企画・提案・要請
- ・新規就農者、担い手の育成支援 など

〔JA・連合会に対して〕

- ・健全な事業・経営に向けた支援
- ・業務監査・決算監査
- ・役職員の研修



〔地域に向けて〕

- ・JAグループ宮崎の事業・活動の広報
- ・生産者と消費者をつなぐための「食」「農」にかかる広報
- ・食農、農業関連の情報発信

3. 企業訪問から

企業訪問ではJAグループの概要に加え、質疑応答などが設けられた。

質疑応答

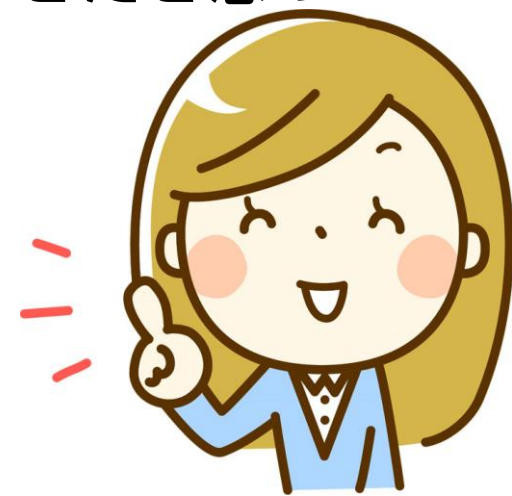
- ・宮崎で働くことのメリットは何か
→ 生活がしやすい（通勤の楽さ、物価が安い）、また近くに家族や住んでいる。
- ・社員数が多いため、自分の意見が反映されるような機会はあるのか
→ JA全体に自分の意見を言える制度が存在していて、業務の効率化やイベントを行う際に自分の意見を持っていることが重要。
- ・自分の希望の部署に入ることは可能か
→ 申請をできる制度が存在しており、自分の希望していた部署を優先してくれる。
- ・育児休暇、産休はとりやすいのか。また、男性の取得状況はどうなのか。
→ JAグループ全体として、女性の育児休暇、産休はとてとりやすい環境である。しかし、男性は取る人が少なく、今後申請をする人が増えることで申請しやすい環境になるのではないかと。

・今後の宮崎の課題と対策

- （課題）TPPの加入による海外農産物の価格低下、農業における後継者問題
- （対策）日本、宮崎の農産物の良さをアピール・宣伝、より美味しい食の提供

企業訪問を通して、社員の方々がとても働きやすい環境が整っていると感じた。質疑応答の際には「ほぼ定時で帰ることができる」とおっしゃっていた。JAグループ全体が自分の仕事に責任を持ちながらも、楽しみながら仕事ができるのはとても素晴らしいことだと思った。

4. おわりに



JA四連について学び、地域に根付いた組合である。また農業や金融、保険事業以外にもガソリンスタンドやJAファーマーズマーケットなど、様々な事業を行っている。従業員も県内出身の人が多く、産休・育休制度や労働環境も整っている。求める人材は、個人作業よりチームで働くことが多いため、協調性があり、率先してチームのために働く人が求められる。つまりJA宮崎は、地域に根差し、主に農家のサポート・貢献など宮崎の農業を支えている。

企業訪問

——スズキ自販宮崎——

坪山広大、早崎優治、西山双葉、古澤果林、新坂友梨

スズキ株式会社について

社名：スズキ株式会社
設立：1920年
連結売上高：3兆8714億円
主要製品：四輪車／二輪車／船外機／電動車いす
本社所在地：静岡県浜松市
国内主要工場：5工場
海外生産工場：20か国30工場
世界販売：四輪車~339万台 二輪車~175万台

自動車ユーザーについて

■自動車ユーザーについて

商品やサービスの中には特定の世代に向けたものもあるが、自動車に関しては年齢・性別を問わず提供している。

■都道府県別の軽自動車保有

①沖縄県・・・52.2%
②高知県・・・55.0%
③長崎県・・・54.8%
④和歌山県・・・53.6%
⑤島根県・・・52.9%
⑥鹿児島県・・・52.7%
⑦鳥取県・・・52.6%
⑧宮崎県・・・52.1%

■人口100人あたりの軽自動車保有

①沖縄県・・・30.76台
②宮崎県・・・29.25台
③佐賀県・・・29.11台
④鳥取県・・・29.39台
⑤島根県・・・28.14台
⑦東京都・・・3.67台

④東京都・・・20.2%

(2017年度)

自動車業界とスズキについて

■軽自動車販売の占拠率

メーカー	宮崎県でのシェア
ダイハツ	32.8%
スズキ	28.9%
ホンダ	20.3%
日産	11.1%
トヨタ	3.3%
三菱	1.4%
スバル	1.2%
マツダ	1.1%

■普通自動車の占拠率

メーカー	宮崎県でのシェア
トヨタ	51.1%
ホンダ	11.7%
日産	10.1%
スズキ	4.6%
マツダ	3.9%
ダイハツ	1.7%
三菱	0.9%
その他	15.8%

(2019年度4月~9月)

■占拠率・・・全体に対しての割合

宮崎で働くこと

宮崎県は人口100人当たりの軽自動車保有台数が全国2位というクルマ社会であるため、自動車に関わる仕事をする事で地域貢献できる
また、宮崎に両親が住んでいる人は実家が近く、子育てがしやすい環境である。
しかし一方で、賃金が安い、交通の便が悪いなどのデメリットがある。

Q.ノルマはあるか？

月ごとの目標は「計画」とよばれる。
達成できると褒賞があるが、できなくても減給等のペナルティはない

Q.人気のスズキ車

■ラパン



■ジムニー



■スペーシア



Q.入社後に必要な資格は？

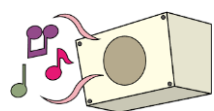
保険：損保一般試験または損保代理店試験
査定：中古自動車査定士

Q/転勤はあるのか

その人の希望による。
「可能であれば〇〇店に移ってやってみないか」または「本社でやってみないか」という声かけがされることはあるが、断ることはできる。
ちなみに、家を建てたり結婚すると転勤させられるというのは都市伝説であり、実際はない。

感想・まとめ

実際にディーラーで働いている方々のお話を聞き、自動車業界の実情から果てはボーナスの形態まで、詳しく知ることができた。またスズキ自動車は業界3位の業績を誇り、車以外の商品、例えば高齢化社会に当たってはセニアカーを多く売るなど、マルチに活躍している企業であるとわかった。



1.宮崎放送について

事業内容：ラジオ、テレビ放送

代表者：津隈佳三

所在地：宮崎市橘通り

設立年月日：1954年7月1日

資本金：1億6200万

売上高：60億4500万

従業員数：115人

部門・部署：総合職、技術職



2.インタビューの内容

Q.宮崎放送の強みは？

→TV・ラジオのどちらも
行っている歴史が長い、イベ
ントが多い。

Q.この業界で必要なこと、大 学で今、しておくべきこと、 アドバイスはありますか？

→自分の興味があること、やり
たいことを経験する。経験する
だけでなく、その経験で、何を
得たのか、何を考えたのかが大
切。地域にふれあい、人脈を広
げることも県内で就職する際に
役に立つ。

<その他の質問>

Q.仕事で大変なことや失敗
談はありますか？

Q.仕事に関するギャップは
ありましたか？



Q.なぜテレビ業界なのか？

Q.番組作成の手順や、工夫、
どのように企画されるの
か？

Q.仕事のやりがいは何で
すか？どんな時にやりがい
を感じますか？

Q.テレビ離れに対して、ど
のように視聴者を確保して
いきますか？

3.宮崎で働くこと

メリット：地域に密着し
た番組が制作できる。さ
らに宮崎のことを知れる。
地域に貢献できる。

デメリット：都会との情報
の差が大きい。情報量が
少ない。



4.感想

宮崎放送の特色や仕事内
容を知ると同時に、宮崎
で働くことのメリットな
どを知ることができまし
た。また実際に社内を見
学をし、良い体験が出来
ました。今後の就職活動に
生かしていきたいです。

櫻川和子、尾上琴音、中村莉子、佐久間友里
華、持留明香、松崎あおい、藤田佳子、忠平
帆南、佐野萌美、内山理沙子、山内聡佳、荒
武亮汰、岡村祐耶、笠作康士朗

MCN 宮崎ケーブルテレビ株式会社

三笥知紘 横山未羽 吉浪彩華 三田瑞季 宮田璃映 萩原帆南 稲谷奈々

1. 宮崎ケーブルテレビについて

概要

宮崎ケーブルテレビは地域の皆様の役に立つ総合メディアを目指して**テレビ・インターネット・固定電話**の3つのサービスを軸に、「MCN宮崎ケーブルテレビだからこそできるサービス」を提供する地域に密着した企業

部署

営業・企画営業推進・カスタマー・技術・制作
管理・総務

特徴

- ・地域に合わせたニーズに対応
- ・会社のロゴは赤、緑、青の光の三原色
- ・また赤は太陽、緑は植物、青は海

取り組み

- ・新規事業ワーキンググループ
…異なる部署の若手社員で構成されたグループで様々な視点から宮崎ケーブルテレビの未来を考える
- ・女性推進プロジェクト
…女性だけで構成されたグループでヨガ教室といったイベント企画やロビーの装飾といった社内環境の整備を行う

2. インタビュー内容

休暇の日数

- ・リフレッシュ休暇…3日
- ・有給休暇…5日



宮崎ケーブルテレビが求める人材像

- ・責任と権限を担い、仕事の中で成長する人材
- ・「バランス感覚」を持って調整できる人材
- ・文章力、柔軟性、体力が求められる（制作）
- ・失敗を恐れず、チャレンジすることで会社に変革をもたらすことのできる人材

CMを作成する際の工夫や気を付けている点

- ・耳に残る音楽、正確性、法律に準拠している点

テレビ離れへの対策

- ・視聴者が何を求めているのかの把握と提供（野球ファンへのチャンネルなど）
- ・地域に密着した内容の報道
- ・ケーブルテレビの良さを知ってもらうために「ついちょルーム」の宣伝

ケーブルテレビやWi-Fiが無料のお部屋



社内の雰囲気

- ・先輩後輩の仲も良く、困ったときに頼れる
- ・部署同士のコミュニケーションが多い
- ・フォローしてくれる先輩社員がいて、成長に繋がる
- ・大手と違って少人数で業務を行っているため和気あいあいとしている

やりがいを感じる時

- ・カスタマー課での仕事の際に、電話対応にてお客様から直「ありがとう」と言われた時



3. 宮崎で働くこと

メリット

- ・貯金がしやすい
- ・通勤時間が短い
- ・物価が安い
- ・住み慣れた土地であるためのびのびと働ける
- ・通勤ラッシュなどの心理的負担が少ない
- ・地元の友人を通して別の会社とのコミュニティが広がる

デメリット

- ・地元であるため刺激や新鮮さがない
- ・交通面で不便であるため旅行がしにくい
- ・実家暮らしであるため自律しづらい

4. 感想

・建物自体が綺麗で初めから社内の雰囲気を明るく感じた。特に魅力を感じたのは、私たちに説明をいただいている最中も含めて終始雰囲気が明るかったことである。新入社員の方も、いい意味で遠慮をしていなくて将来こんな会社で働きたいと思った。今回の企業訪問で学んだことを今後の自分たちのキャリア設計や就職活動に役立てていきたい。

・社内にある自動販売機の価格が福利厚生の一つとされ比較的安くなっていると説明を聞き驚いた。宮崎公立大学を卒業した先輩たちが会社の先輩と仲良く話をする様子を見て、非常に職場内の雰囲気が良い印象を感じた。また、社長が社員たちに気配りをしている話を聞き、社長と社員の距離が近くアットホームな環境であると感じた。



宮崎キヤノン

平原菜々美・丁同芳・木下直美・明川千夏・穴井幸

1. キヤノンについて

正式名称：宮崎キヤノン株式会社

事業内容：デジタルカメラの製造等

社員数：1127名

平均年齢：34歳

新工場の設立年：2019年5月1日

2. インタビュー内容

【宮崎で働くことのメリット・デメリット】

<メリット>

- ・慣れた土地で安心して働ける
- ・家庭を持った時に親が近くにいと安心

<デメリット>

- ・視野や世界が狭まる
- ・刺激が少ない

【求める人物像】

- ・勉強する習慣がある人
- ・主体的に考え行動できる人
- ・コミュニケーション能力がある人

【会社内・外での異動】

- ・生産計画が変わったとき（会社内）
- ・大卒は間接部門に配置されるが、部門間での異動はあり（まれ）

九州キャリアチャレンジ！！

→公募された職種に上司を介さずに
応募できる！

【スマホの普及による影響】

- ・デジタルカメラの売上危機！
- ・一眼レフ、プロ仕様のカメラ、ビデオカメラは一定の売り上げ

↓

？スマホカメラに進出？

↓

利益が一致しないため進出せず

3. 宮崎で働くこと

<メリット>

- ・宮崎出身の人は地元での、大学から宮崎に来た人は大学生活4年間の生活の基盤があるため、慣れた土地で安心して働ける

<デメリット>

- ・広い視野が持ちづらい

↳努力次第で他の地域で働ける

4. その他

【ノー残業デイ】

- ・水曜日金曜日をノー残業デイに設定
- ・実施率は95%
- ・扉の開閉を社員証で管理しているため、サービス残業も不可



株式会社 宮崎日日新聞社

小松咲希 曾川香鈴 田代栞理 谷口璃音 富田蒼乃 長友祐汰 奈須春樹 平中大地 湯浅智裕

1. 宮崎日日新聞社について

○事業内容

宮崎県内や国内外のニュースを報道する日刊新聞発行

○代表者・設立年月日

町川安久・1940年11月25日

○企業理念

「読者と共感、県民と共感」

○各部署の紹介と内容

- ・論説委員会(1面のくろしお、2面の社説)
- ・システム統括本部(コンピュータ管理)
- ・総務局(人事、経理)
- ・編集局(記者)
- ・読者局
(販売店の取りまとめ、読者の対応、小学校や企業への出前授業)
- ・業務局
(営業、音楽大会やスポーツ大会の主催、イベントの企画・運営)
- ・総合メディア局(HPやプレミヤの運営)
- ・印刷局(佐土原で新聞の印刷)



2. インタビューの内容

Q1 全国紙と比べて、地方紙のメリットは何か

→A. 全国紙には載らないような**小さな記事**を**載せられること**や宮崎に住んで取材を行うことで県民の方に信頼してもらえること。また、「宮崎を元気にするため」という明確な目標があること。

Q2 支社とのやり取りはどうやっているのか

→A. メールで記事が送られてきて、デスクがチェックした後に整理部に回す。

Q3 整理記者が1人で見出しや記事のレイアウトを担当するのか

→A. 16:30～編集長、デスク、整理記者の10人ほどで編集会議をするときに、1面や社会面を大体決める。それ以降ニュースが入ってくれば、夜中まで記事の入れ替え作業をする。

Q4 新聞の購読者数はこれから減少していくと思われるが、何か対策を実施しているか

- A. ①新聞を知ってもらう
- ・こども新聞
 - ・小学校や企業への出前授業



②ネットの活用

- ・プレミヤの運営
- ・プレミヤ登録者への意識リサーチ
(企業のマーケティングにも利用)



3. 宮崎で働くこと

～メリット～

- ・**県民性(穏やか、和やか)**のあふれる職場で働けること
- ・通勤しやすいこと
- ・地方紙ならではの点では、全国紙ほど規模が大きくはないため、社内の雰囲気明るく、仲がいいこと

～デメリット～

- ・空港が少し遠かったり、新幹線がなかったりするので、出張に行くのに**交通の不便性を感じる**こと



4. まとめと感想



・県民との密接なかかわりと地域貢献

→記事をエリア分け、スポーツ大会・展示会の企画・運営、WEBニュースの配信 など

・職場の雰囲気

→社員同士の距離が近い、声を掛け合いながら協力して仕事する

・女性も働きやすい環境

→育児休暇制度の充実
女性や若い社員の声を大切にする

◎職業訪問を通してわかったこと

多くの部署の社員が新聞に関わっており、日々宮崎を思い、より良い新聞を県民に届ける為に尽力していること



宮崎ガス株式会社

メンバー：名取 凱
井上 澄陽
梁瀬 杏那
眞子 佑介
松元 拓海
平原 雅也
若杉 崇広

1. 企業概要

会社名
宮崎ガス株式会社

事業内容
ガス事業並びにガスに関する工事の請負、ガス機器の販売、液体化石油ガスの販売、液体天然ガスの販売及び冷熱利用に関する事業

代表者
橋口 光雄

所在地
宮崎県阿波岐原町野間311番地1

設立何月日
昭和5年7月28日

資本金
1億8000万円

売上高
78億3600万円

従業員数
133人



企業理念・経営理念
お客様のニーズに迅速・的確に応えて、安心・快適なエネルギー「都市ガス」の供給を通して、地域社会に貢献するため、下記の経営方針を定め取り組んで参ります。
1.お客様視点に立った提案と実行
2.経営理念体質の強化と新たな事業への挑戦
3.保安レベルの向上
4.地域活性化につながる社会貢献活動推奨

2. 福利厚生

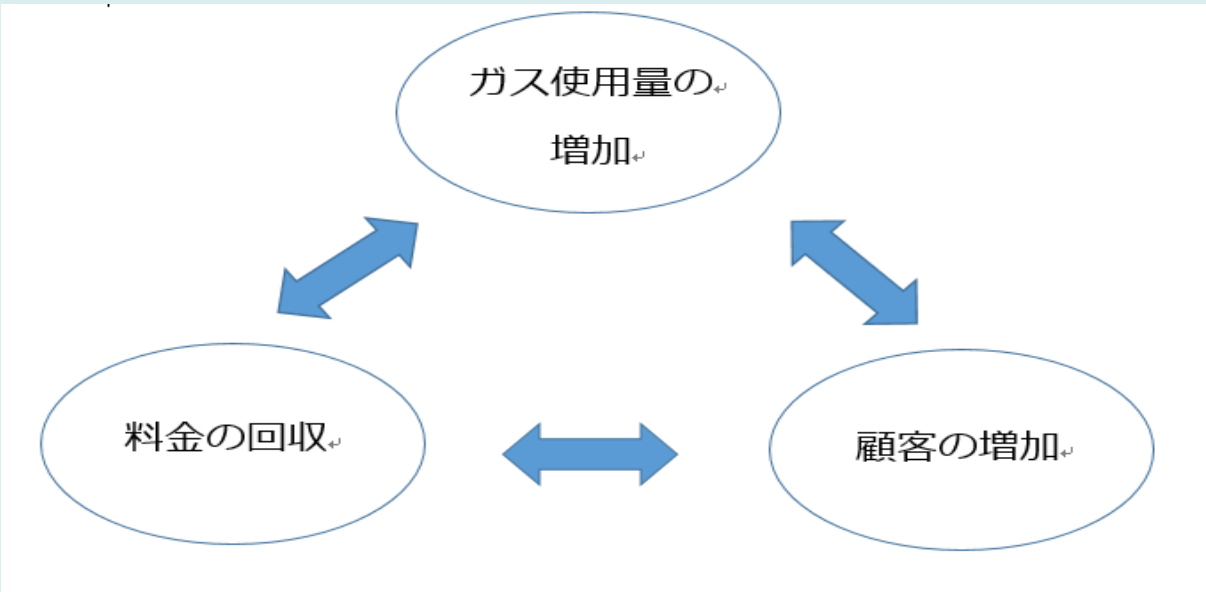
年間休日 126日

完全週休2日制
平均月残業 12時間未満
有給取得率9割以上
育休取得率100%
3年以内の離職率0%

3. インタビュー内容

宮崎で働くことのメリットとデメリットはなにか。
→メリット：通勤時間が短い。物価が安い。
デメリット：店舗数が少ないなど。

- 1.ガスは地震などの災害の時に止まるのか。
→基本的には非常に安全である。
しかし、震度5弱以上の場合止まる恐れがある。
- 2.ガスを使う際に気を付けることはあるか。
→1. 換気 2. ガス機器はガスの種類と合うものを使用する 3. 異変があればすぐに連絡をする
- 3.入社する際にやっておけばよかったなと思うことはなにか。
→まとまった休みが取れないため、海外旅行や留学などの時間を要する様々な経験。
- 4.どういったときにやりがいを感じるか
→営業の場合；行った仕事が残るため、それらが様々な人の生活に直結していると感じた時。
- 5.社会貢献活動はなにかしていますか。
→「企業による森林づくり」や「宮崎国際音楽祭への協力」等を行っている。
- 6.電気とガスどちらが良いのか
→どちらがいいとは断言できない。
- 7.どのように利益を得ているのか。
→



左図の様な3つの循環による。

- 8.文系でも就職できるか。
→入社してからの充実した研修・教育制度が整っていることから、全く問題ない。

5. 最後に

宮崎ガス株式会社は、ガスという私たちになくてはならないライフラインを支えつつ、多様な面から地域の活性化に貢献していることが分かった。前述した通り有給取得率や育休取得率が高いなど、福利厚生が充実しており、勤めやすい環境である。



宮崎商工会議所

有衛未希、荒井玲奈、清田咲希、本谷涼太、泉遥貴、石口樹



1. 宮崎商工会議所について

「企業と地域の応援団」
日本の企業と地域を元気にしたいと願いから
生まれた経済団体。

宮崎では4000余りの事業所が加入
5000会員を目標に事業を展開している。

仕事内容

経営相談 経営のお手伝い

→金融指導、記帳指導、労働保険事務手続き、
専門家派遣事業 など

資金計画

→小規模事業者経営改善資金、
国・県・市の公的融資制度 など

共済制度

→ 生命共済制度、特定退職金共済制度 など
その他→主に情報提供



6. 観光のイメージに対して

→観光と他の物をつなげて相乗効果を生むようにしている

7. 商工会議所を選んだ理由

→・商工会議所とは何か興味があった
・いろいろな人とかわわりを持つことができる

2. インタビュー内容

1. 仕事内容と1日の流れ

⇒8:45～17:30

朝礼はあるが終礼はない。

主に自分の担当の業務を行うが、トラ
ブルやお客さんの対応もする

2. やりがいを感じる時

⇒相手のニーズにうまく答える
ことができ、感謝されたとき



3. 仕事が大変だと思うとき

⇒相手のニーズにうまく応えることが
できなかったとき

4. 仕事中に心がけていること

⇒・「丁寧に、謙虚に」
・仕事に慣れてきてもだらけない
・報告・連絡・相談

5. 仕事で失敗したとき

⇒・しっかりと謝罪すること
・ミスなどの悪い情報ほど
早く伝えること



3. 宮崎で働くこと

メリット

・通勤時間が短く、自分の時間を持ちやすい
・職場の空気があたたかい
・地域貢献によるやりがい
・地域のコミュニティとつながりやすい

デメリット

・賃金が他県と比べて低い
・情報の差によって、宮崎にばかり目を向けていると視野が狭くなってしまふ。

4. まとめ

今回の訪問を通して、検定事業の実施や情報提供など中小企業の支援を行っていることが分かった。また、宮崎商工会議所は「街市」や「みやざき納涼花火大会」など様々なイベントを行っている。このように宮崎商工会議所は様々な角度から宮崎の活性化のために尽力している企業であると学んだ。

SCSKニアショアシステムズ株式会社

藤本・橋元・桜田・宮越・片野・平留・長井・細川

1.SCSKニアショアシステムズについて

設立 2001年5月15日
所在地 東京都江東区豊洲 3-2-24 豊洲
フォレシア
開発地点 岩手・横浜・福井・宮崎・鹿児島・熊本・沖縄（秋田・石川開発予定）
社員数 298名（2019年4月1日現在）
取締役社長 谷口 学

事業 システム開発、ITインフラ構築、ITマネジメント、ITハード・ソフト販売、BPO

2.インタビューの内容

1. 必要な資格とスキルはなんですか。

- ・基本情報技術者
・情報セキュリティマネジメント
・応用情報技術者

2. システム開発とは具体的にどのようなものをさしていますか。

→ 現在はタイヤの会社の在庫をPCやスマホで分かりやすく確認している。

3. 仕事のやりがいは何ですか。

→ ・成果物が目に見えること（要件通り、カスタマイズできたとき）

4. 他者にはない特色・強み何ですか。

→ ・宮崎にしながら大手の会社と取引できる
・教育制度が整っていること

5. 「ワークライフバランス」を実現しているとありますがどのようなことをしていますか。

- ・残業時間短縮の取り組み
・フレックスタイムの導入
・在宅勤務制度



3.宮崎で働くこと

訪問を通して感じた・考えた宮崎で働くことの魅力、メリットやデメリット。

メリット

- ・通勤時間が短い
- ・大学時代からの知り合いが多い
- ・自然がいっぱい
- ・地元に貢献できる
- ・物価が安い
- ・人ごみが少ない

デメリット

- ・福利厚生サービスが宮崎で使えるものが限られている
- ・地元のスキルアップセミナーが少ない
- ・給与が低い
- ・選べる職業が少ない

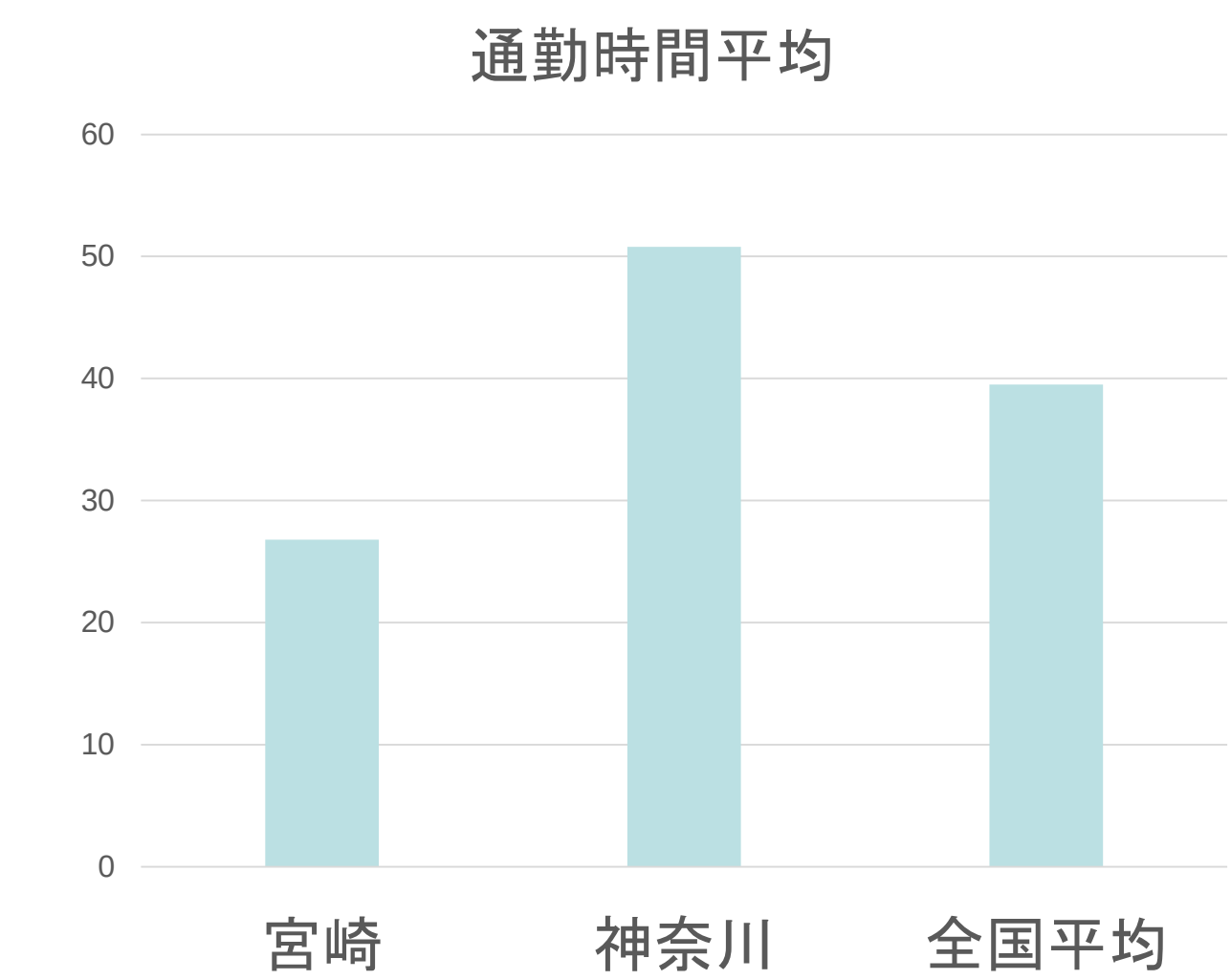


図 1) 通勤時間都道府県別統計より作成

4.企業訪問感想

今回の企業訪問を通して、地元で働きながら首都圏の仕事にも携わることができることが分かった。地元に貢献し、地元の家族や友人たちと時間を過ごしながらグローバルな仕事もできることが魅力の一つだと感じた。また、社内での働き方改革がしっかりと実施されており、今まで思っていた働くことへのイメージを払拭することができた。今回の貴重な経験を生かして今後の自分のキャリアについて考える。

